

## ●当院の臨床研修の特色

当院は仙台市の三次救急の中心を担っており、脳神経疾患、心臓疾患、多発外傷など全ての領域に渡る重症疾患が搬送されてきます。救急車搬入数は年間約 5,000 件におよび、初期研修医は万遍なく全ての救急疾患を経験出来ます。日当直には内科、外科、産婦人科、脳疾患の 4 ラインの専門医が同時に勤めるため、他科へのコンサルテーションも容易です。

学術活動の水準は特に高く維持されており、研修医が研究会や学会で報告する機会が非常に多いことも特徴です。さらに、地域医療研修の一環として、フィリピン熱帯医学研究所（マニラ）における研修も選択できます（応募者多数の時には選抜試験あり）。また、全国の機構病院が持ち回りで各分野のエキスパートを集めて年間 20 回以上の講習会、研修会が開催されます。研修医は自由に全国を飛び回り、研鑽を深めます。このようなアカデミズムとグローバルズムの実践は当院の最大の特徴です。

## ■プログラム紹介（参考：平成 29 年度開始プログラム）

●プログラム名／プログラム責任者：仙台医療センター医師臨床研修プログラム Essential コース / 篠崎 毅  
 ●研修スケジュール 募集人数 8 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	神経内科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科	総合診療科	内分泌・代謝内科	外科			救急・麻酔		
2 年次	精神科	地域医療研修	救急	総合診療科	小児科	産婦人科	自由選択					

●プログラム名／プログラム責任者：仙台医療センター医師臨床研修プログラム Creative コース / 篠崎 毅  
 ●研修スケジュール 募集人数 9 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	総合診療科		内科（2 ヶ月×2 科）			救急		外科			自由選択	
2 年次	地域医療研修	救 急		麻小産精 より選択	自由選択							

●プログラム名／プログラム責任者：仙台医療センター医師臨床研修プログラム 小児科・産婦人科コース / 久間木 悟  
 ●研修スケジュール 募集人数 2 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	内科（2 ヶ月×3 科）					小児科（2 か月）・産婦人科（1 か月） 又は 産婦人科（2 か月）・小児科（1 か月）		救急	麻酔	新生児		
2 年次	地域医療研修	救急	病理・放射	自由選択					小児又は産婦人科（3 ヶ月）			

## ●協力施設

栗原市立若柳病院	栗原市立栗駒病院	公立黒川病院
登米市立上沼診療所	医療法人爽秋会岡部医院	登米市立登米市民病院
涌谷町町民医療福祉センター	独立行政法人国立病院機構盛岡病院	他 17 施設

## ■教育体制

- |                                      |                          |
|--------------------------------------|--------------------------|
| 1) 研修医勉強会：4 月－7 月毎週火曜 7:30am         | 7) AHA-BLS（必修）と ACLS（必修） |
| 2) 総合内科検討会：9 月－3 月毎週火曜日 7:45am       | 8) 研修医症例発表会：3 月中旬        |
| 3) CPC 毎第 4 金曜 18:00pm               | 9) 緩和ケア研修会               |
| 4) 総合 Cancer board 毎月 1 回            | 10) 災害医療研修会              |
| 5) サージカル・ラボ                          | 11) 論文作成                 |
| 6) シュミレーターによるトレーニング<br>(CV 穿刺・縫合実習等) |                          |

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

4 月におどした表情を見せていた一年目の研修医も、病棟で患者の示すサインを読み取る時、そして、カンファランスで CT 画像を食い入るよう見つめる時には全く違った表情を見せます。それは次々と新しい知識を吸収し、昨日よりも今日、今日よりは明日と進歩した自分を感じ取れる喜びでしょうか？彼らの生き生きとした姿は私たちスタッフの気持ちも奮い立たせてくれます。

100 万人の診療圏から搬送されてくる 3 次救急患者、そして、全ての分野にわたる高度・先端医療は初期研修医には最高の環境です。熱く語る指導医と頼りになる兄貴分の後期研修医（レジデント）が待っているのは、一緒に汗を流し、一緒に泣いて、一緒に笑ってくれるあなたたちです。

### ●先輩研修医から一言

当院は診療科が一通り揃っており、各科において研修医が活躍できる場が多く設けられています。上級医からのご指導もしっかりしているため、頑張り次第では様々な症例や手技を経験することができます。また、当院は研修医の人数も多く、時には競い、時には楽しみ、互いに切磋琢磨しながら研修の日々を送っています。2016 年からはドクターヘリの運用が開始し、更に新病院の建設も進んでいます。今後ますます活気づいてくる仙台医療センターで、私達と一緒に良い研修医生活を過ごしましょう！

## ■病院理念

■病院理念  
 《基本理念》 最善の医療を尽くして社会に貢献します  
 患者さんにやさしく働きがいのある病院を目指します  
 [基本方針] 1. 安全で良質な医療の提供

2. 継続的な質の改善
3. 高度総合医療の提供
4. 地域との医療連携と情報共有
5. 国際レベルの臨床と研究の推進
6. 情操豊かな職員を育む
7. 職場環境の整備
8. 健全な病院経営

### ■臨床研修の理念

当院が目指す初期臨床研修の理念は「社会と国民が求める臨床医を養成する」ことである。その実現は、当院の基本理念「人に喜んでもらえるよう、みんなでこの病院を良くしよう」を実践することに繋がる。初期臨床研修の理念を実践するための目標は以下の通りである。

1. プライマリーケアの基本的診療能力（態度、技能、知識）を有する
2. 幅広い視野、豊かな人間性、そして思いやりの心を持つ
3. 全ての医療者との円滑なチームワークを実践できる
4. 社会と地域に対する医療の役割を理解し、実現できる
5. 安全・良質な医療を実践できる

## ■診療内容

- 診療の特徴、実績
  - ・がんの診療
  - ・心臓病と脳血管障害の診療
  - ・成育医療（出産と新生児の医療）
- ・指定疾患（難病）の診療
- ・エイズの診療（東北ブロック拠点病院）
- ・救急医療（救命救急センター）
- ・災害医療（東北ブロック防災拠点病院 宮城県基幹災害医療センター）

### ●診療科・医師数

診療科名	総診	内・代	血内	神内	呼内	消	循	腫内	緩和ケア	小	外	心外	乳外	整	形
医師数	2	4	5	4	4	9	5	3	1	6	9	1	1	5	3
指導医数	1	4	2	3	1	8	3	1	1	4	8	1	1	2	1

診療科名	脳外	呼外	感内	小外	皮	泌	産	眼	耳鼻	放	麻	救急	精	臨検	合計
医師数	7	2	1	1	2	3	6	4	3	5	5	3	4	3	111
指導医数	6	1	1	1	1	1	4	1	2	5	1	3	3	2	73

- 許可病床数：698 床（一般 650 床、精神 48 床）
- 入院患者数（1 日平均）：563.9 人
- 外来患者数（1 日平均）：976.1 人
- 平均在院日数（一般病床）：14.5 日
- 分娩件数：989 件
- 救急医療の提供実績：救急搬送患者数は年間約 5,000 件におよび、1 次から 3 次までの救急医療者が常に搬送されてきます。また、当院は宮城県のドクターヘリ稼働基地を有し、名実共に本県の救急医療の中心です。2 年後には新病院がオープンし、当院の救急医療はさらにバージョンアップするでしょう。

- 医療法上の位置づけ：3 次医療機関
- 救急取扱件数：10,306 件
- 救急車取扱件数：5,192 件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成 27 年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成 28 年 12 月 1 日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数 7 年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1 年次】396,000 円（月額、手当・税込）、5,312,000 円（年額、賞与・手当・税込）  
 【2 年次】434,000 円（月額、手当・税込）、6,058,000 円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】無し 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（開園時間：8:30～18:30、延長保育：7:30～8:00、18:30～20:00 土曜日開園（利用者がいるときのみ）夜間保育実施（週 2 回））  
 【その他】病後児保育室有り（当院職員であれば利用可、事前登録・予約制）

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：19 名
- 応募資格：平成 30 年医師国家試験合格予定者
- 応募必要書類：(1) 願書又は履歴書 (2) 卒業（見込）証明書
- 試験内容：(1) 小論文 (2) 面接
- 申込締切日：各面接日の 1 週間前
- 試験実施日：平成 29 年 8 月～9 月間で 4 回実施予定

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1 年次 18 名 うち女性 7 名  
 2 年次 18 名 うち女性 10 名
- 研修医の主な出身大学：福島県立医科大学、獨協医科大学、山形大学、東北大学、北里大学、岩手医科大学、自治医科大学、弘前大学、秋田大学、岐阜大学、埼玉医科大学
- 当直回数：5～6 回（2 年次については、希望により回数が決まる。）
- 研修終了後の進路：当院後期研修医、東北大学、山形大学、札幌医科大学、慈恵医科大学付属病院、公立黒川病院
- 後期研修プログラムの有無：有り（全診療科研修可能）

## ■申し込み、問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構仙台医療センター  
 管理課 厚生係

983-8520 宮城県仙台市宮城野区宮城野 2-8-8  
 TEL 022-293-1111 FAX 022-291-8114  
 E-mail [rinken@snh.go.jp](mailto:rinken@snh.go.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

内科、外科、麻酔科、救急、小児科、産婦人科そして精神科において通常見られる疾患に対処できる幅広い知識、臨床能力を習得する。さらに希望によりその他の研修として診療科をどれでも選択できる。選択科としては、呼吸器、循環器、消化器、糖尿病、リウマチ膠原病、心療内科、リハビリテーション科、外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科、放射線科がある。すべての研修について評価を行い、評価をフィードバックし、研修を改善する態度を身につける。

## ■プログラム紹介 (参考：平成 29 年度開始プログラム)

- プログラム名／プログラム責任者：東北労災病院臨床研修プログラム／武藤 満完
- 研修スケジュール

募集人数 10 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	内 科						外 科					
2 年次	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	選択科目 (2 ヶ月)							

## ●協力型病院名 (科目)

労働者健康安全機構 横浜労災病院 (産婦人科)	東北公済病院 (産婦人科)
東北会病院 (精神科)	東北大学病院 (救急)
広南病院 (脳血管内科)	宮城県立こども病院 (小児科)

## ●協力施設

労働者健康安全機構 秋田労災病院 介護老人保健施設トラスト	宮城県赤十字血液センター 仙台往診クリニック	仙台市青葉区保健福祉センター 吉成台内科胃腸科
----------------------------------	---------------------------	----------------------------

## ■教育体制

- ・研修医セミナー (毎週木曜日 18:00 ～)
- ・C P C (隔月 1 回)
- ・研修医発表会 (毎週火曜日 7:30 ～)
- ・研修医発表アワード (年 1 回)
- ・症例検討会 (随時)
- ・カンファレンス (随時)
- ・その他
- ・本部主催の集合研修 (年 1 回)

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

当院は、仙台市北部にある急性期総合病院です。消化器疾患と整形外科が当院の特徴ですが、近年は救急医療にも力を入れており、救急疾患も増加中です。というより増やします。当院の研修の特徴は、なんといっても雰囲気と自由度の高いカリキュラムです。雰囲気は、当院に見学に来ていただければわかります。多くの先輩研修医がおり、屋根瓦式の研修を行っております。きっと楽しいはず。また、研修医の皆様のニーズに応えられるように、定期的なミーティングを行い、教育システムの改善を日々行うよう努めています。2 年間の初期研修が終わると、医師としての基本的な素養およびプライマリ・ケアの診療能力を習得することができると確信しております。楽しいなかにも厳しさがある、当院の初期研修に応募してくれる熱意ある学生さんをお待ちしております。

### ●先輩研修医から一言

当院では研修開始後でもプログラムの変更ができるため、まだ志望科が決まっていなくても対応可能です。実際に医師として責任を負う立場で研修をはじめると学生の時とは視点が変わってきます。新たに興味がわいた科、自分に必要だと思う分野、研修期間内の心情の変化に合わせてプログラムを更新していくことができます。産婦人科などいくつかの科は協力病院での研修となります。他施設での研修はよい刺激となり、視野を広げるきっかけとなります。当院の医局は大部屋で研修医もそこに机を置き、先輩医師に質問、相談のしやすい環境です。また医師同士だけではなくコメディカルの方々との交流の機会もあり、仕事をしていく上で重要なチームワークを形成できます。症例発表や勉強会なども活発に行われております。是非当院の見学にお越しください。

## ■病院理念

- ◆病院の理念◆  
満足と納得が得られる医療の実践
- ◆基本方針◆  
1 患者さんの安全と安心を第一に考える医療を提供します  
2 患者さんの権利を尊重し、思いやりのある医療を実践します  
3 科学的根拠に基づく質の高い医療を提供します  
4 地域の方々と勤労者の健康管理を支援します

## ■診療内容

- 診療の特徴、実績  
特徴として、250 床近くを消化器系 (内・外科) と整形外科とで確保し、リハビリ病床を有していることが挙げられる。また、最新医療機器を整備して高度医療・先進医療を実施しており、地域がん診療連携拠点病院として充実したがん診療を展開している。内科は消化器、循環器、呼吸器、リウマチ科、心療内科、腫瘍内科と幅広く診療領域をカバーしており、スタッフが充実している。外科では消化器癌手術と腹腔鏡手術を中心にトップレベルの技術を誇る。また整形外科では、東北有数の人工関節手術実施施設である。

診療科名	内	総診	胃腸	肝臓	糖尿	腫瘍	緩和ケア	高血圧	循	呼	リウマチ	心内	小	外	大腸肛門	乳腺	救急外科	整
医師数	—	—	13	3	7	1	1	1	3	7	2	1	3	11	2	1	1	8
指導医数	—	—	6	1	2	1	—	—	2	1	—	1	2	2	1	—	1	2

  

診療科名	脊椎外	関節	皮膚整	呼外	皮	泌	脳卒中科	産婦	眼	耳鼻	リハビリ	放診	放治	麻	病理	検査科	健診	合計
医師数	1	3	1	1	3	4	1	—	3	5	2	2	1	6	2	1	1	102
指導医数	—	1	—	1	1	1	—	—	—	2	—	1	1	2	—	—	1	33

- 許可病床数：548 床 (一般 548 床)
- 入院患者数 (1 日平均)：410.7 人
- 外来患者数 (1 日平均)：1037.6 人
- 平均在院日数 (一般病床)：13.4 日
- 分娩件数：0 件
- 救急医療の提供実績：急患対応は上位研修医または専修医 1 名、指導医 1 名と共に行う。指導医の診療科以外でも、各診療科オンコール体制をとっている。救急応需担当医を設け、疾病毎に各診療科に振り分ける体制をとっている。

- 医療法上の位置づけ：2 次医療機関
- 救急取扱件数：7,198 件
- 救急車取扱件数：3,034 件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成 27 年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成 28 年 12 月 1 日現在です。  
※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数 7 年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当 (実績等による目安)：【1 年次】423,000 円 (月額、手当・税込)、5,202,000 円 (年額、賞与・手当・税込)  
【2 年次】450,000 円 (月額、手当・税込)、6,170,000 円 (年額、賞与・手当・税込)
- 研修医に対する各種保険等の適用：労働者健康安全機構健康保険、厚生年金、確定給付企業年金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り (病院より徒歩 5 分、看護師宿舍の 1 階部分に設置 7:45 ～ 18:45)

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：10 名
- 応募資格：平成 29 年度 医師国家試験受験予定者の方
- 応募必要書類：(1) 臨床研修申込書兼履歴書 (HP よりダウンロード) (2) 卒業 (見込) 証明書 (3) 成績証明書 (4) 小論文
- 試験内容：(1) 小論文 (2) 面接
- 申込締切日：平成 29 年 7 月中旬予定
- 試験実施日：平成 29 年 7 月下旬・8 月中旬予定

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1 年次 9 名 うち女性 5 名  
2 年次 6 名 うち女性 1 名
- 研修医の主な出身大学：弘前大 (2)、山形大 (3)、岩手医科大 (3)、秋田大 (2)、新潟大 (1)、産業医大 (1)、聖マリアンナ医科大学 (1)、金沢医科大学 (1)、福島県立医大 (1)
- 当直回数：4 回
- 研修終了後の進路：東北労災病院 (6)、山形県立中央病院 (1)
- 後期研修プログラムの有無：有り (内科、消化器内科、糖尿病・代謝内科、循環器内科、呼吸器内科、リウマチ科、腫瘍内科、心療内科、外科、整形外科、小児科、皮膚科)

## ■申し込み、問い合わせ先

独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院  
総務課庶務係

981-8563 宮城県仙台市青葉区台原四丁目 3 番 21 号  
TEL 022-275-1446 FAX 022-275-4431  
E-mail soumu.shomu1@tohokuh.johas.go.jp  
kensyu@tohokuh.johas.go.jp

## ●当院の臨床研修の特色

～「人財」こそ我が病院の「財産」、人財育成を通じて地域医療に貢献する～

当院は仙台市の中核総合病院としての機能を果たし、臨床研修病院としても昭和57年以来、数多くの研修医が学んできました。全科にわたり指導医数及び患者数が充実した環境のもと、救急医療を通して「鑑別診断能力」、「救命を含めた初期対応能力」、「プライマリ・ケア能力」を獲得することを目標としており、県内トップクラスの救急車受入れ実績を背景に、各診療科においてプライマリ・ケアの習得に十分な疾患を幅広く経験することができます。

平成26年11月のあすと長町地区への移転開院に伴い、仙台市夜間休日こども急病診療所の併設による救命救急センターと連携した総合的な小児救急医療の提供や、NCU・GCUの整備による妊産婦・胎児・新生児への総合的・専門的な周産期医療の提供、また救命救急医療や災害時医療、感染症対策等の政策的医療の拡充等、様々な症例を経験できる環境が整っています。さらに、敷地内に院内保育所やレストラン、研修医室等が入る厚生棟と、研修医宿舎棟を整備する等、アメニティが各段に向上しています。

このように、ハード・ソフト両面が揃った当院での初期研修は、必ずや充実したものとなり、医師としての基礎的素養、また人間としての幅を広げることができるかと確信しています。

## ■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：仙台市立病院医師臨床研修プログラム／八木 哲夫
- 研修スケジュール 募集人数 17名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科系診療科						麻酔科			外科		小児科
2年次	救急	地域医療	産婦人科	精神科	自由選択							

## ●協力型病院名（科目）

宮城県立精神医療センター（精神科）	国見台病院（精神科）
-------------------	------------

## ●協力施設

岡部医院／岡部医院仙台	光ヶ丘スベルマン病院	羽生クリニック
宏人会木町病院／中央クリニック	JR仙台病院	原田乳腺クリニック
塩竈市立病院	国立病院機構仙台西多賀病院	他9施設

## ■教育体制

4月のオリエンテーションでは、接遇マナー研修、研修医シャドーイング、救急ロールプレイ等、実践的な内容のものとしています。毎週木曜日の17時30分以降を研修医勉強会の時間と位置付け、エコーやCVC等の実践的な研修やコアレクチャー、救急センター症例検討会、研修医による症例発表等の様々な勉強会を実施し、研修医が積極的に参加できるよう配慮しています。また、ニューメキシコ大学医学部と学術協力・交流に関する協定を締結しており、毎年度救急専門医を招聘し、1週間の集中的な教育指導等を実施しています。

さらに、院外の救命措置講習会への参加や基本的臨床能力評価試験の受験も、研修の一環として費用を当院で負担しているほか、研修医には1人1台PCとiPad miniを貸与し、UpToDate・New England Journal・ClinicalKey等を閲覧可能とすることで研修を支援しています。

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

当院は急性期総合病院で、県内でも有数の救命救急センターを併設しており、「救急医療を通してプライマリ・ケアを学ぶ」ことをスローガンにしています。豊富な救急及び急性疾患を経験し、初期研修で身につけるべき知識、技能、態度を習得できます。また、体力的に無理がかからない当直体制を組んでおり、誰でもしっかりと勉強可能です。当院での初期研修を通じて、多くの症例を経験し、医師としての基礎的素養を身に付けることで、研修後には自信を持って診療に当たることが出来るはずです。多くの仲間と切磋琢磨しながら、明るく・楽しく・元気よく研修生活を送っていただきたいと思っています。

患者さんのニーズに応えられる臨床医になるための最初のステップとして、意欲ある学生さんのご応募を心よりお待ちしております。

### ●先輩研修医から一言

当院には全国の大学から研修医が集まっており、宮城県に馴染みのない方でも安心して研修できます。皆で明るく楽しく、時に真面目に切磋琢磨しながら研修生活を送っています。研修医同士はもちろん、先輩や上級医、看護師さんやコメディカル等とも風通しが良く、病院全体がアットホームな雰囲気です。

当院は3次救急病院で多くの急患を受入れており、幅広い症例を多数経験可能です。最初は不安だらけの当直業務も、先輩や上級医からの指導を受け、いつの間にか自然と身体が動くようになります。毎週の研修医勉強会等、積極的に勉強する機会が多く設けられていることや、新しい設備で気持ち良く研修できることも大きな魅力です。

是非一度見学に来て、当院の雰囲気を感じてみてください。スタッフ一同心よりお待ちしております！

## ■病院理念

「開かれた病院」、「患者さん中心の医療」、「意欲的な病院」を基本理念として、人口100万人の政令指定都市仙台における唯一の市立病院として、市民の健康の増進と福祉の向上のため、地域の中核病院としての機能を果たし、市民が安心して生活できるよう寄与することを目指しています。

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

当院は昭和5年2月に開院して以来、80年間以上にわたり仙台市民の健康増進と福祉の向上に貢献してきました。市民の皆様信頼される利用しやすい地域の中核病院として、また安全・安心な市民生活に欠くことのできない政策的医療の中心的な担い手として、市民の健康と生命を守る役割を果たしています。

当院の重点施策として救急医療、高度医療、臨床研修の充実を掲げており、特に臨床研修病院としては、プライマリ・ケアの習得に十分な疾患を背景に、研修医に対する指導に懸命に取り組んでいます。

### ●診療科・医師数

診療科名	内	呼吸	消	循	神内	血液	糖代	感染	外	心外	脳外	整形	形成
医師数	2	3	7	8	1	3	3	1	9	3	3	6	1
指導医数	2	2	4	5	1	2	3	1	7	2	2	4	1

診療科名	精	小	皮	泌	産婦	眼	耳鼻	放	病	歯	麻	救急	合計
医師数	5	9	3	4	10	3	3	2	2	2	6	7	106
指導医数	2	5	2	2	4	1	2	1	2	-	5	4	66

- 許可病床数：525床（一般 467床、精神 50床、感染症 8床）
- 入院患者数（1日平均）：398.1人
- 外来患者数（1日平均）：908.7人
- 平均在院日数（一般病床）：7.6日
- 分娩件数：940件
- 救急医療の提供実績：3次救急医療機関として、主に仙台市内南東部から多くの救急車、救急患者を受け入れています。「仙台市救急ステーション」を併設し、高度処置救急隊（ドクターカー）も配備されています。またヘリポートも備え、患者受入が拡充しました。症例も豊富で、救命の最前線で傷病者の救命活動に従事できます。

- 医療法上の位置づけ：3次医療機関
- 救急取扱件数：15,078件
- 救急車取扱件数：5,721件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】450,000円（月額、手当・税込）、5,400,000円（年額、賞与・手当・税込）  
【2年次】600,000円（月額、手当・税込）、7,200,000円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金保険、労働者災害保険（雇用期間が2年目になる時点で地方公務員災害補償に切替）、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舎の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（月～日曜日及び祝日7:45～19:00、毎週火・木曜日は夜間保育実施）  
【その他】勤務体制（当直勤務等）の配慮等

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：17名
- 応募資格：平成30年春に医師免許取得見込みで、医師臨床研修マッチングに参加する者（予定）
- 応募必要書類：(1)臨床研修申込書 (2)履歴書 (3)卒業見込証明書 (4)小論文（予定）
- 試験内容：面接（予定）
- 申込締切日：平成29年7月上旬から8月中旬まで（予定）
- 試験実施日：平成29年8～9月に複数回実施（予定）

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1年次 15名 うち女性 8名  
2年次 13名 うち女性 4名
- 研修医の主な出身大学：弘前大学、岩手医科大学、東北大学、秋田大学、山形大学、福島県立医科大学、東京女子医科大学、北里大学、近畿大学、大阪大学大
- 当直回数：5回
- 研修修了後の進路：本院後期研修医、東北大学病院、福島県立医科大学附属病院、東京女子医科大学病院
- 後期研修プログラムの有無：有り（内科、外科、小児科、救急科 他）

## ■申し込み、問い合わせ先

仙台市立病院 総務課職員係  
982-8502 宮城県仙台市太白区あすと長町1丁目1番1号  
TEL 022-308-7111 FAX 022-308-7153  
E-mail [shokuin@hospital.city.sendai.jp](mailto:shokuin@hospital.city.sendai.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

当院はローテート研修において約40年の経験があり、プライマリケアを重視し基礎的総合力の獲得を目指したプログラムに多くの研修医を受け入れてきました。塩釜・多賀城を中心とした診療圏域の中核病院として、救急からリハビリ・訪問診療までの継続的な医療を提供しており、地域密着型の研修として定評があります。

当院のローテート研修の特徴は、①内科系4科(循・呼・消・神経)を3ヶ月ずつじっくりと回り、内科系のCommon Diseaseを幅広く経験すること、②選択必修5科目のうち外科・小児科・産婦人科・精神科を必修とし、初期研修に求められる総合力をしっかりと培うこと、③ER型救急と附属クリニックでの外来診療、在宅往診を2年間通年で担当し、地域医療の最前線で徹底的に基礎力を磨くことです。着実な経験で力をつけたい、積極性を発揮して研修を充実させたい、そんな研修医の皆さんにぜひ選んでほしいプログラムです。

## ■プログラム紹介 (参考：平成29年度開始プログラム)

- プログラム名／プログラム責任者：坂総合病院群基礎研修プログラム／渡部 潔
- 研修スケジュール

募集人数 11名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	導入	内科①			内科②			外科		救急		
2年次	精神科	産婦人科	小児科		内科③			内科④		選択科		

## ●協力型病院名 (科目)

泉病院 (内科、地域医療、選択研修)	医療法人菅野愛生会 緑ヶ丘病院 (精神科)
宮城県立精神医療センター (精神科)	長町病院 (内科、地域医療、選択研修)
古川民主病院 (内科、地域医療、選択研修)	至誠堂総合病院 (内科、選択研修)

他2施設

## ●協力施設

坂総合クリニック	坂総合病院附属北部診療所	石巻市立病院開成仮診療所
松島医療生協 松島海岸診療所		

## ■教育体制

- ◇導入研修 (オリエンテーション) 2週間
- ◇研修医会 1/週 (通称：木曜会、研修医が自ら企画・運営を行なう勉強会)
- ◇各科カンファ、内科オープンカンファ、救急カンファ、在宅カンファ、Cancer Treatment Conference、感染症よろず相談所
- ◇外部講師招聘企画 (教育カンファ・講演等) 4/年
- ◇青年医師の会 OSCE(上級研修医による、当直帯で出逢う要注意症例をもとにしたシナリオ)、ヒヤリ症例検討会
- ◇ベテラン指導医によるメンター制、上級研修医によるチューター制(当直フィードバック)実施
- ◇ICLS講習、大規模災害訓練 1/年

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

当院は100年の歴史があり、地域医療、特に在宅診療や夜間診療も古くから行なうなど、地域の方々に慣れ親しまれた病院です。地域の方々は、研修医がいるとご存じでありながら信頼してかかったださっており、研修医は地域の中で医師として成長していきます。多くの指導医は当院でのローテート研修を経験しており、研修医にどこまで責任を持たせるのか、研修医がつまづくのはどこかという点をよく心得ています。ローテート研修は、興味を持ち、どこまで自分でやろうと思うかで研修内容が大きく変わりますので、色々なことに興味を持って、何でもやろうという気持ちで取り組んでほしいと思います。

### ●先輩研修医から一言

私が当院を初期研修先に選んだのは、消化器内科・呼吸器内科・循環器内科をそれぞれ3ヶ月ずつと、他の病院に比べて長い期間、内科のメジャー科をローテート研修できる点に魅力を感じたからです。研修では、実際に患者さんを受け持ち、主体的、能動的に診療に臨むことができました。自分一人の判断では難しい症例など、困った際に相談できる上級医も多く、安心して診療することができます。また、手技の面でも研修医が行えることや、その機会が多く、経験は非常に多く積めると思います。当院では外来診療も担当するのですが、退院後の患者さんを診ることができたことは、急性期だけではなく、慢性期を含めた治療全体を把握する上で大きな力になりました。ぜひ一度見学に来て、私たち研修医の一日を体験してみてください。

## ■病院理念

わたしたちは、患者さまの権利を尊重し、共感・共同・平等・安全の医療をめざします。「医療は無差別平等であるべき」との理念・信念の下に、いわゆる差額ベットを一切持たずに医療を行っています。

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

外来患者数は附属クリニックをあわせ1日800名、入院1日当たり330名、在宅管理患者数は約140名、救急車搬入数は年間約3500台で塩釜医療圏の4割を受け入れ、急性期、回復期、慢性期の医療を地域の中核的医療機関として担っています。初期研修で身につけるべきプライマリケア習得に適した環境といえます。

### ●診療科・医師数

診療科名	内	外	小	産婦	精	泌	脳外	整	形	リハ	麻	放	救	病	合計
医師数	26	9	5	5	1	1	2	1	1	4	4	1	2	1	63
指導医数	12	6	2	4	0	1	2	0	0	3	1	0	1	0	32

●許可病床数：357床 (一般 357床)

●入院患者数(1日平均)：327.2人

●外来患者数(1日平均)：189.5人

●平均在院日数(一般病床)：15日

●分娩件数：602件

●救急医療の提供実績：年間の救急搬入数は約3500件(CPA搬入は133件)。救急要請に対する応需率100%を目指し、診療圏2市3町(塩釜・多賀城・松島・七ヶ浜・利府)の救急車の約40%を受け入れています。

●医療法上の位置づけ：2次医療機関

●救急取扱件数：16,264件

●救急車取扱件数：3,436件

●救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

●研修手当(実績等による目安)：【1年次】500,000円(月額、手当・税込)、6,700,000円(年額、賞与・手当・税込)  
【2年次】520,000円(月額、手当・税込)、6,960,000円(年額、賞与・手当・税込)

●研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険

●医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意

●宿舍の有無：無し(30,000円の住宅費補助あり)

●出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り(月～土8:00～21:00、日8:00～18:00)産休明けから2歳の年度末まで  
【その他】産後1年までの育児時間有給保障(1時間/日)、育児休暇制度、短時間勤務制度

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

●募集予定人数：11名

●応募資格：平成16年以降医師国家試験合格者または平成29年医師国家試験合格見込み者

●応募必要書類：(1)研修申込書(当院指定書式)(2)履歴書(3)卒業見込み証明書(4)成績証明書(5)健康診断書書

●試験内容：(1)病院実習(2)面接(3)小論文

●申込締切日：平成29年9月30日の予定

●試験実施日：随時実施

## ■現在の研修状況と進路

●研修中的人数：1年次 11名 うち女性 4名  
2年次 11名 うち女性 1名

●研修医の主な出身大学：東北大、山形大、秋田大、福島医科大、岩手医科大、信州大、琉球大、近畿大、熊本大、昭和大、金沢医科大

●当直回数：3回(8月まで見習い15回。独り立ち後は主に深夜当直を担当。通し当直医との2名体制。)

●研修修了後の進路：引き続き当院専門各科での後期研修・重点研修4名、東北大学2名、福島県立医科大学2名

●後期研修プログラムの有無：有り(循環器科、呼吸器科、消化器科、糖尿病代謝科、総合診療科(総診・家庭医)、リハ科、外科、泌尿器科、産婦人科、小児科、麻酔科、神経内科、救急科、病理診断科)

## ■申し込み、問い合わせ先

坂総合病院 985-8506 宮城県塩竈市錦町16-5  
TEL 022-365-5175 (内線2261) FAX 022-365-6555  
医師・医学生室 E-mail [kensyu@zmkk.org](mailto:kensyu@zmkk.org)

## ●当院の臨床研修の特色

当院のプログラムは、各研修医のニーズに沿った研修スケジュールを組むことができます。専門医療を日々実践する大学院各科での研修に加え、協力病院・施設における研修を通じて、十分なプライマリ・ケアの研鑽が可能です。  
 「経験豊富な指導医」：大学院の高度専門医療とこの医療を担う指導医が揃っています。若手からベテランまで医師の層も厚く、目指す将来像に近い指導医が見つかるはずです。  
 「充実した協力病院・協力施設」：東北から関東に広がる協力病院・施設が120ヶ所余りあります。大学院の高度専門医療と、地域医療の両方を経験できるのは大学のプログラムだけです。当院の自由選択プログラムでは研修医自身が協力病院・施設を選択し、各得意分野と地域性を活かした各人のニーズにマッチした研修を行うことができます。これらの施設でプライマリ・ケアを十分研修でき、また地域に根ざした医療の重要性も実体験できます。  
 「地域医療重点プログラム」：地域医療に必要な全分野を網羅できる充実した2年間の研修です。宮城県修学資金受給者は、本プログラムに限り16ヵ月を義務年限としてカウントされます。  
 なお、当院は新専門医制度において、19の基本領域すべてのプログラムを準備します。初期研修、後期研修、その後の生涯研修がシームレスに繋がる当院で、医師としての第一歩を踏み出しましょう。

## ■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム）

●プログラム名／プログラム責任者：東北大学病院 自由選択プログラム／卒後研修センター長 海野 倫明  
 ●研修スケジュール 募集人数 28名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急部門		選択必修科			選択科
2年次	救急部門	地域医療										

●プログラム名／プログラム責任者：東北大学病院 小児科・産婦人科プログラム／卒後研修センター長 海野 倫明  
 ●研修スケジュール 募集人数 4名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	小児科あるいは産婦人科		内科						救急部門		選択必修科	
2年次	選択必修科	救急部門	地域医療	選択科								

●プログラム名／プログラム責任者：東北大学病院 地域医療重点プログラム／卒後研修センター長 海野 倫明  
 ●研修スケジュール 募集人数 6名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	選択必修科（本院）		救急部門（本院）			内科（基幹拠点病院：石巻日赤、大崎市民、県南中核病院より1病院選択）						
2年次	選択科（基幹拠点病院）		地域医療	選択科（拠点病院：気仙沼市立、登米市民、栗原市民、刈田総合病院より1-2病院選択）	選択科（本院）							

## ●協力型病院名（科目）

東北公済病院（内科、循環器内科、外科（乳腺外科）、麻酔科、産婦人科、産科、婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、小児科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科）
石巻赤十字病院（内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、腫瘍内科、外科、脳神経外科、乳腺外科、呼吸器外科、小児外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、小児科、産婦人科、麻酔科、緩和医療科、精神科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、病理、検査部、地域医療）
気仙沼市立病院（内科、循環器科、呼吸器科、外科、小児科、産婦人科、脳神経外科、整形外科、眼科、耳鼻科、泌尿器科、皮膚科、救急、麻酔科）
仙台市立病院（内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、感染症内科、精神科、整形外科、耳鼻いんこう科、産婦人科、小児科、麻酔科）
岩手県立磐井病院（内科（循環器科、消化器科、呼吸器科）、産婦人科、外科（血管外科、食道胃腸外科、整形外科、緩和医療科、麻酔科）、小児科（新生児科）、脳神経外科、泌尿器科、放射線科（画像診断科）、救急科、病理（CPC））
宮城厚生協会 長町病院（地域医療、内科（糖尿病代謝内科、総合診療科）、リハビリテーション科、在宅科）

他 75 施設

## ●協力施設

いずみの杜診療所	国見台病院	仙台市生出診療所
涌谷町町民医療福祉センター	他 37 施設	

## ■教育体制

当院の臨床研修は、高度かつ最先端の医療を実践するために最新の設備を備えた環境と経験豊富な指導医のもとで行われています。当院では、希少症例を含む幅広い症例を経験でき、これらの疾患を指導できる医師が揃っています。若手からベテランまで医師の層も厚く、目指す将来像に近い指導医が見つかります。  
 また、全国有数のシミュレーションセンターがあり、医療技能に関する講習会やシナリオに基づくチーム医療トレーニングを定期的に開催しており、専任スタッフが研修医の自己学習をサポートしています。「外科手術トレーニング」は、専用の施設で動物を用いて手術シミュレーションを行い、手術の進め方や手術器具・器械の使用を実践的に学習します。

## ■メッセージ

●指導医から一言  
 東北大学病院の初期臨床研修は、院内各診療科をはじめ、100以上ある協力病院・施設から自分のニーズに最も適したところを選択し、自分だけのプログラム作成が可能です。院内の高度専門医療だけでなく、地域医療、プライマリ・ケア研修の両方が経験できます。多数のシミュレーターによる質の高いトレーニングや動物を用いた手術手技トレーニングも可能です。個人で契約すると高価なオンラインでの文献検索・データベースへのアクセスも安易です。宮城県医師育成機構主催のアメリカでの医療研修に参加するチャンスもあり、安価に入居できる研修医宿舎も完成（2014年春）しました。  
 充実した設備・環境のもと、研修医の皆さんの将来を見据え、きめ細かな研修プログラムの実践が可能な当院での研修を強くお勧めします。

## ●先輩研修医から一言

私が思う初期研修病院選びで重要なことは、研修プログラムを自分の必要に合わせて柔軟に変更できるかです。私は学生の頃には将来の志望科を決めており、初期研修のうちから専門的診療能力を身につけたく、志望科を12ヶ月選択できる東北大学病院を選びました。しかし、実際に研修を行う中で、2年間の研修を終えた時に自分が医師としてどれだけ広く基本的診療能力を身につけているかも大切だと感じるようになり、志望科研修の数ヶ月を市中病院での他科研修に変更しました。  
 このように東北大学病院では、研修中でも条件を満たせば研修病院や診療科を必要に合わせて変更でき、専門的医療と基本的医療の両方を自分に合った比率で学ぶことができます。みなさんも東北大学病院で初期研修を行いながら、自分に合った研修プログラムを作り上げていきませんか。

## ■病院理念

患者さんに優しい医療と先進医療との調和を目指した病院  
 ・社会の要請に応える開かれた病院 ・最先端の医療技術の開発・応用・評価 ・着実かつ独創的な研究の推進 ・人間性豊かな医療人の養成  
 ・患者の人間性を尊重した全人的医療と高度に専門化した先進的医療の調和

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

「患者さんに優しい医療と先進医療との調和を目指した病院」の基本理念のもと、移植医療や高度な先進医療を実施し、地域医療機関との連携や活性を図り、東北地方の中核的機関としての役割を担っています。H18.8月がん診療連携拠点病院指定、10月東北地方で2番目の高度救命救急センター設置。H19.2月歯学部附属病院棟が東北大学病院に移転、H22.1月歯科医療センター-外来移転により、医科、歯科部門統合。H25.2月小児がん拠点病院、12月造血幹細胞移植推進拠点病院指定。

### ●診療科・医師数

診療科名	総合診療外来	循環器内科	総合感染症科	腎・高血圧・内分泌科	血液・免疫科	糖尿病代謝科	消化器内科	老年科	漢方内科	心療内科	呼吸器内科	腫瘍内科	肝・胆・膵外科	胃腸外科	移植・再建・内視鏡外科
医師数	5	13	6	10	15	17	18	5	4	6	20	8	12	9	14
指導医数	4	7	5	10	6	6	15	2	4	6	16	5	11	8	13

診療科名	乳腺・内分泌外科	心臓血管外科	整形外科	形成外科	麻酔科	緩和医療科	呼吸器外科	婦人科	産科	泌尿器科	神経内科	脳神経外科	脳血管内治療科	精神科	救急科
医師数	10	9	15	10	18	2	9	15	14	10	18	7	1	25	15
指導医数	5	8	2	2	2	1	1	9	7	3	7	4	1	9	3

診療科名	小児科	小児腫瘍科	遺伝科	小児外科	小児腫瘍外科	皮膚科	眼科	耳鼻咽喉・頭頸部外科	肢体不自由/リハビリ科	てんかん科	内部障害/リハビリ科	高次脳機能障害科	放射線治療科	放射線診断科	加齢核医学科
医師数	26	2	2	7	24	26	16	4	4	9	4	7	17	4	
指導医数	20		1	6	2	1	9	0	2	3	1	3	5	4	

診療科名	診療関連施設	歯科	合計
医師数	74	164	730
指導医数	3	38	280

●許可病床数：1,225床（一般1151床、精神40床、感染症 2床、歯科32床）  
 ●入院患者数（1日平均）：1,041.1人  
 ●外来患者数（1日平均）：2,378.5人  
 ●平均在院日数（一般病床）：17日  
 ●分娩件数：866件  
 ●救急医療の提供実績：難治性心室細動の経皮的心肺補助、重症呼吸不全の体外式模型人工肺、外傷性ショックの damage control surgery / 動脈塞栓術、心肺蘇生後の低酸素脳症の脳低温療法、緊急血液浄化療法、重症敗血症・広範囲熱傷の集学的治療（同種皮膚 / 自家培養表皮移植含む）、各種化学物質中毒、特殊感染症、頭部外傷データベース、日本DMATに参画、災害医療提供、仙台市ドクターヘリの運用協力

●医療法上の位置づけ：3次医療機関  
 ●救急取扱件数：7,526件  
 ●救急車取扱件数：2,745件  
 ●救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。  
 ※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
 ※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

●研修手当（実績等による目安）：【1年次】300,000円（月額、手当・税込）、3,600,000円（年額、賞与・手当・税込）  
 【2年次】300,000円（月額、手当・税込）、3,600,000円（年額、賞与・手当・税込）  
 ●研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険  
 ●医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】有り  
 ●宿舎の有無：有り  
 ●出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（東北大学星の子保育園、常時・終夜・一時保育。他に病後児保育室有り、7:30～18:00）  
 【その他】通院時間の確保、通勤緩和、深夜勤務等の就業制限、業務軽減、産前・産後休暇、育児休業、育児短時間勤務、育児部分休業、看護休暇、所定時間外の勤務の制限等（条件により、取得できないこともあります。）

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

●募集予定人数：38名  
 ●応募資格：平成29年度医師免許取得見込者。医師免許取得者で、免許取得後の臨床経験が2年未満の者。  
 ●応募必要書類：(1)初期研修申請書(2)履歴書(写真貼付)(3)自己PR表  
 (4)卒業見込み証明書(卒業見込者)、卒業証書の写しまたは卒業証明書(既卒者)(5)成績証明書(6)返信用封筒(長3サイズ、送付先住所・氏名記載、512円分の切手貼付)  
 ((1)～(3)は卒後研修センターホームページよりダウンロード可)  
 ●試験内容：面接試験を3回程度実施予定。  
 ●申込締切日：各試験日の一週間前を予定。詳細が決まり次第、卒後研修センターホームページに掲載予定。  
 ●試験実施日：平成29年8-9月頃に実施予定。詳細が決まり次第、卒後研修センターホームページに掲載予定。

## ■現在の研修状況と進路

●研修中の人数：1年次 16名 うち女性 7名  
 2年次 11名 うち女性 4名  
 ●研修医の主な出身大学：秋田大学、東北大学、山形大学、福島県立医科大学、埼玉医科大学、北里大学、杏林大学、昭和大学、帝京大学、東邦大学、富山大学、愛知医科大学、産業医科大学  
 ●当直回数：宿直4回、日直1回  
 ●研修終了後の進路：東北大学病院、東北大学大学院進学、仙台医療センター、埼玉医科大学病院、国立精神・神経医療研究センター、東海大学医学部附属病院、東京慈恵会医科大学病院、信州大学病院  
 ●後期研修プログラムの有無：有り（19基本領域）

## ■申し込み、問い合わせ先

東北大学病院 卒後研修センター  
 980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1番1号  
 TEL 022-717-7765 FAX 022-717-7143  
 E-mail [hos-sotu@grp.tohoku.ac.jp](mailto:hos-sotu@grp.tohoku.ac.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

当院の研修プログラムは、臨床の現場で役に立つ医師の養成を主眼としており、ローテート研修によりプライマリケアから専門治療までの診療を経験し、On the job trainingで総合診療能力を高めることを目標にしています。また、医師が将来診療の主導的役割を担うことを考慮し、インフォームドコンセントやコミュニケーションの重要性を充分理解でき、患者の苦しみを感じ取ることができる感性豊かな医師になれるよう指導しています。平成28年4月に東北薬科大学の医学部新設に伴い「東北医科薬科大学病院」として新たなスタートを切りました。小児科、腎臓内分泌科、総合診療科、救急科、産婦人科が新設され、医師の増員により大幅な機能強化を行ないました。同年10月には救急センターの新設により、救急・総合診療の修練の場が広がり、医学部附属病院と地域中核病院、双方の長所を活かした実践型医療から高度の専門的医療まで、守備範囲の広い研修が可能です。

## ■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム） ※平成30年度開始プログラム変更予定あり

●プログラム名／プログラム責任者：東北医科薬科大学病院臨床研修プログラム／柴田 近  
●研修スケジュール 募集人数5名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次	内科						外科			麻酔科			救急
2年次	救急	選択必修	地域医療	自由選択									

### ●協力型病院名（科目）

仙台医療センター（小児科、産婦人科）	東北大学病院（救急、小児科、産婦人科、精神科）
学校法人 東北医科薬科大学若林病院（内科、外科、婦人科）	

### ●協力施設

医療法人社団爽秋会 岡部病院	医療法人社団爽秋会 岡部病院仙台	照井在宅緩和クリニック
----------------	------------------	-------------

## ■教育体制

- 教育担当医の配置  
各診療科に教育担当医を配置し、研修の進行状況や目標達成度を把握し、卒後研修支援センターや他の診療科と情報共有を行います。また、研修医の相談役として適切な助言を行います。
- オリエンテーション  
入職後約1週間はオリエンテーション期間として、医療安全・感染対策・接遇・電子カルテ演習、シミュレーターを使用した静脈注射演習等、初期研修を円滑に行うための基礎を学びます。
- 勉強会・研修会が豊富  
病院全体で勉強会や研修会を熱心に行っております。e-learningシステムを導入しており、院内外で24時間自己学習が可能です。年に数回は著名な講師を招聘した講演会を開催しています。また、研修医による症例発表会を定期開催し、研修に役立つポイントを専門医がレクチャーする「研修医スキルアップセミナー」を隔週で開催しています。
- 教育設備・機器の充実  
新設の大学病院としてこれまで以上に教育設備や機器の充実を図っております。シミュレーションセンターの開設も予定されており、安全で質の高い医療を提供するための技術研修が可能となります。
- 学会・研究会への参加支援  
学会地方会や研究会での症例発表の支援、全国規模の学会参加のための旅費の支援を行っております。

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

医学部附属病院として新しくスタートを切り、診療科や教員、設備の拡充などが広がるなか、研修医の皆さんには、当院が大きく進化していく過程で、新たなチャレンジの場を多く提供できると考えています。医師にとって大切なのは“ペイシェント・ファースト”。常に患者さんを第一に考え、東北の医療を支える医師へと成長していけるよう、病院スタッフ一同全力でサポートします。

### ●先輩研修医から一言

当院は、研修医の数に対して体制が手厚いため、自分の成長度合いや希望に応じてローテートの変更が通り易いのが魅力です。医学部附属の大学病院となり、様々な面で充実が図られていきます。この素晴らしい環境を活かし、アクティブに研修に取り組んでほしいと思います。

## ■病院理念

基本理念：忠恕（真心を尽くし、思いやりの心で務める）の精神に基づき、親切的な医療、新しい医療、納められる医療の提供を行う。

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

当院は、仙台市の東部に位置し、仙台市東部、多賀城、塩釜地区の中心的病院として、最新設備と充実したスタッフを備え、地域完結型の診療を行っています。平成25年4月1日より全国で初めての単科の薬科大学の附属病院として新生し、従来の地域医療への貢献だけでなく、質の高い薬剤師の育成のための教育病院として機能を果たしてきました。これに加えて平成28年4月に医学部が新設され、地域医療を担う医師・薬剤師の育成という責務を果たす病院として、また地域医療の活動拠点として、病院機能をより一層強化し、地域住民の期待に応えます。

### ●診療科・医師数

診療科名	糖尿病代謝内科	総合診療科	腫瘍内科	精神科	神経内科	呼吸器内科	感染症内科	消化器内科	循環器内科	消化器外科	肝胆脾外科	乳腺内分泌外科	整形外科	呼吸器外科	心血管外科
医師数	6	5	2	4	4	4	2	11	10	7	1	1	6	5	4
指導医数	5	5	2	3	4	4	2	5	9	6	1	1	6	4	4

診療科名	小児科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	血液・リウマチ科	腎臓内分泌内科	救急科	看護センター	臨床検査部	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科	病理診断科	合計
医師数	2	2	4	3	6	3	5	1	1	1	3	4	4	2	113
指導医数	2	2	4	3	6	3	4	1	1	1	3	2	4	2	99

- 許可病床数：466床（一般 420床、精神 46床）
- 入院患者数（1日平均）：291.8人
- 外来患者数（1日平均）：678.7人
- 平均在院日数（一般病床）：14.2日
- 分娩件数：0件
- 救急医療の提供実績：救急センターの新設により、専門のスタッフが他科の専門医や他の職種との連携と調和を図りつつ、目の前の患者にとって最適な救急医療を実践します。専門診療科を特定できない患者さんでは、複数の診療科が連携して診療を行います。

- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：4,202件
- 救急車取扱件数：2,160件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。  
※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】430,000円（月額、手当・税込）、5,700,000円（年額、賞与・手当・税込）  
【2年次】450,000円（月額、手当・税込）、6,200,000円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：私学共済、雇用保険、労災保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（開所時間 8:00～19:00、土曜日も開所、延長保育、夜間保育、一時預かり有り）  
【その他】短時間勤務制度、子の看護のための特別休暇付与

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：5名
- 応募資格：平成30年医師国家試験受験予定者、既卒で医師免許取得者
- 応募必要書類：(1) 臨床研修申込書（ホームページよりダウンロード可）(2) 履歴書 (3) 成績証明書
- 試験内容：面接
- 申込締切日：平成29年8月～9月頃の予定
- 試験実施日：平成29年8月～9月頃の予定

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1年次 2名 うち女性 0名  
2年次 1名 うち女性 0名
- 研修医の主な出身大学：山梨大学、兵庫医科大学、東北大学
- 当直回数：4回（当直は1年次の5月から開始。指導医の下で副直として勤務）
- 研修修了後の進路：当院後期研修医、東北大学
- 後期研修プログラムの有無：有り（全診療科）

## ■申し込み、問い合わせ先

東北医科薬科大学病院  
卒後研修支援センター

983-8512 宮城県仙台市宮城野区福室 1-12-1  
TEL 022-259-1221 FAX 022-259-1232  
E-mail [kenshu-shien@hosp.tohoku-mpu.ac.jp](mailto:kenshu-shien@hosp.tohoku-mpu.ac.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

当院は外来患者が多く、救命救急センターを併設しているため、基本的な疾患から稀な疾患まで、急性期から慢性期の多様な症例等を経験することが可能です。各科の経験豊富な専門医、多くの優秀な指導医や上級医、専攻医（後期研修医）たちが連携して、皆さんの研修をアシストします。また、より有意義で快適な研修環境を提供できるよう、専従の事務スタッフが皆さんと同じ目線に立ちながら、常に改善に努めております。

各プログラムは、基本的な部分はしっかり押さえ、確実に必修項目を習得できるよう配慮しながらも、一人一人のご希望にできる限り沿えるよう柔軟性を最大限に高めています。選択科では全ての診療科が選択可能ですので、診療科が豊富な当院の利点を十分に活かした多彩な研修を行なうことが可能です。

さらに、当院は多くの専門領域の教育・認定病院であり、最新の医療技術や専門知識を学びながら、専門医を目指すことができます。院内の各科抄読会や症例検討会はじめ学会活動も活発に行なっており、各学会・地方会での学会発表については各専門分野の指導医が丁寧に指導します。

初期研修修了後の進路についても、指導医が親身になってアドバイスをいたします。当院では新専門医制度の基幹施設として内科・外科の専門研修プログラムを準備（申請中）しておりますので、常勤の専攻医として専門的な医療技術に磨きをかけることができます。また、東北大学との連携講座「宮城県北先制医療学講座」を開講しておりますので、当院で勤務しながら学位の取得も可能です。大学に戻る場合も適切なお手伝いをすることができます。

## ■プログラム紹介（参考：平成 29 年度開始プログラム）

●プログラム名／プログラム責任者：臨床研修プログラムA（内科専攻）コース／蒲生 真紀夫  
 ●研修スケジュール 募集人数 8 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急			外科		
2年次	麻酔科	小児科	産科・婦人科	地域医療		地医	精神	内科系選択		選択		

●プログラム名／プログラム責任者：臨床研修プログラムB（サブスペシャルティ）コース／今泉 秀樹  
 ●研修スケジュール 募集人数 7 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急			外科		
2年次	麻酔科	小児科	産科・婦人科	地域医療		地医	精神	選択				

●プログラム名／プログラム責任者：臨床研修プログラムC（外科専攻）コース／今野 文博  
 ●研修スケジュール 募集人数 4 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急			麻酔科	外科	
2年次	外科	小児科	産科・婦人科	地域医療		地医	精神	外科系選択		選択		

●協力型病院名（科目）

東北大学病院（精神科）	国見台病院（精神科）
宮城県立がんセンター（地域医療）	

●協力施設

大崎市民病院鳴子温泉分院	大崎市民病院岩出山分院	大崎市民病院鹿島台分院
大崎市民病院田尻診療所	涌谷町町民医療福祉センター	宮城県大崎保健所
大崎市社会福祉協議会		

## ■教育体制

- ローテート各科に複数の指導医がおり責任ある指導体制をとっています。
- 以下の教育体制を充実させています。●オリエンテーション（2週間・基礎研修及び症例検討会・院内巡覧・関連施設見学等）●臨床研修講義（2年間で実技等も含め臨床の基礎固めの講義を実施）●院外講師による教育講演会（数回／年 講師：東北大学医学部教授など）●CPC（6～7回／年）●内科症例検討会（隔週）●外科CPC（2回／月）●医局症例検討会（不定期）●医局抄読会（1回／週）●各科勉強会、抄読会●全国学会・地方会での発表●その他院内研修会（感染症講義・保険診療研修会・医療安全研修会・感染制御講習会・地域がん診療研修会等）
- 臨床研修管理部にて研修医のプログラム管理を行なっています。

## ■メッセージ

### ●先輩研修医から一言

当院は宮城県北部の医療を担う基幹病院であり、内科、外科共にほぼ全ての科が揃っています。Common disease から希少疾患まで幅広い症例に触れることができ、専門的に学ぶことができます。各診療科には指導医の先生が豊富であり、専攻医（後期研修医）も多いため初期研修医への指導体制が整っていることも当院の特色と言えます。

救急に関しては、当院は三次救急指定病院であり軽症から重症まで本当に様々な患者が運ばれてきます。二年間の初期研修を消化できれば初期研修が終了する頃には重症患者の対応も自信を持ってできるようになることなのでしょう。また救急病棟も充実しており集中治療を学ぶ体制も整っているため全身管理を身につけることも可能です。

基本的な手技を自ら行う機会にも恵まれており手技に困ることはないでしょう。中には手術で執刀させていただいている研修医もあり、日々努力を積み重ねていけば様々な手技を学ぶ機会も増え着実に自分の力となるでしょう。

このように自分次第で自分自身の可能性を高めることができるという点で当院は初期研修をするにあたり魅力的な病院なのではないでしょうか。みなさんと一緒に働くことができるのを楽しみにしております。

## ■病院理念

〈病院理念〉  
 ～市民が安心できる医療の提供～

〈研修理念〉  
 本院の研修理念は医師として必須の臨床的基礎知識と技術の習得、ならびにEBM（Evidence Based Medicine）に基づいた医療を身につけるとともに、病にある人の心を理解し、優しさのある、礼儀正しい、献身的に診療にあたる、責任感の強い医師を育成します。さらに、学会発表等を通して医学的探究心と知識の向上を図ります。また、保健医療、チーム医療、地域医療についても十分理解する医師を育てます。本院は、明日を支える全人的な人間性豊かな科学心の高い医師を育てることを目標にしています。

## ■診療内容

●診療の特徴、実績  
 宮城北（人口約 40 万人）における基幹的総合病院として初療から専門診療まで多様化する疾患に対応し、三次救命救急センターとして急性期医療も専門的に行なっています。さらに、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、地域周産期母子医療センター等の指定施設、諸学会の教育施設として先進的な役割を果たしている他、デイスーンジャーセンター、外来化学療法室、骨髄移植無菌室、屋上ヘリポート等現代的な住民のニーズにも応えています。

●診療科・医師数

診療科名	内科	消化器内科	循環器内科	リハビリ	小児科	皮膚科	外科	脳神経外科	泌尿器科	整形外科	産科・婦人科	耳鼻咽喉科
医師数	22	8	6	2	7	2	21	3	4	7	6	3
指導医数	13	2	2	0	3	0	14	2	1	4	2	0

診療科名	眼科	麻酔科	形成外科	歯科口腔外科	放射線診断科	放射線治療科	臨床検査科	病理診断科	救急診療科	精神科	合計
医師数	3	11	2	3	2	2	1	2	7	1	125
指導医数	0	1	1	0	2	1	0	1	1	1	51

●許可病床数：500 床（一般 486 床、結核 8 床、感染症 6 床）  
 ●入院患者数（1 日平均）：410.4 人  
 ●外来患者数（1 日平均）：1,080.2 人  
 ●平均在院日数（一般病床）：9.8 日  
 ●分娩件数：820 件  
 ●救急医療の提供実績：当院救命救急センターは、全科常勤専門医による 24 時間体制の三次救急医療を提供しています。専門医ならではの質の高い医療を提供しており、中毒、熱傷、多発外傷などの高次救急患者も受入れています。特に、心筋梗塞や脳卒中の治療に関しては県内でもトップクラスの成績を上げています。

●医療法上の位置づけ：3 次医療機関  
 ●救急取扱件数：11,277 件  
 ●救急車取扱件数：6,020 件  
 ●救急医療を行う診療科：内科系、外科系、小児科、その他（救急診療科）

※上記データは平成 27 年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成 28 年 12 月 1 日現在です。  
 ※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数 7 年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
 ※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト（REIS）をご参照下さい。【<https://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

●研修手当（実績等による目安）：【1 年次】390,000 円（月額、手当・税込）、5,200,000 円（年額、賞与・手当・税込）  
 【2 年次】450,000 円（月額、手当・税込）、6,600,000 円（年額、賞与・手当・税込）  
 ●研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険等加入  
 ●医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意  
 ●宿舍の有無：有り  
 ●出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（院内保育所「あいあい」24 時間対応）

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

●募集予定人数：19 名  
 ●応募資格：平成 30 年医師国家試験受験予定者で、医師臨床研修マッチングに参加する者  
 ●応募必要書類：(1) 研修申込書 (2) 履歴書 (3) 卒業（見込み）証明書 (4) 健康診断書  
 ●試験内容：(1) 小論文試験 (2) 面接試験  
 ●申込締切日：1 回目：平成 29 年 7 月下旬予定、2 回目：平成 29 年 8 月上旬予定  
 ●試験実施日：1 回目：平成 29 年 8 月上旬予定、2 回目：平成 29 年 8 月下旬予定

## ■現在の研修状況と進路

●研修中の人数：1 年次 18 名 うち女性 3 名  
 2 年次 19 名 うち女性 7 名  
 ●研修医の主な出身大学：弘前大学、秋田大学、東北大学、福島県立医科大学、滋賀医科大学、東海大学、山口大学、福井大学、山梨大学、愛媛大学  
 ●当直回数：4 回（1 年次 5、6 月は見習当直として日当直にあたり、補助当直は 1 年次 7 月より開始。）  
 ●研修修了後の進路：大崎市民病院、慶応義塾大学病院、東北大学入局  
 ●後期研修プログラムの有無：有り（現行制度：全科 / 新制度：内科・外科（申請中））

**申し込み、問い合わせ先**  
**大崎市民病院**  
**臨床研修管理部 臨床研修管理室**  
 989-6183 宮城県大崎市古川穂波三丁目 8 番 1 号  
 TEL 0229-23-3311 FAX 0229-23-5380  
 E-mail [kensyu-och@h-osaki.jp](mailto:kensyu-och@h-osaki.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

- 新・救命救急センター&災害医療研修センター 完成！  
できたてほやほやの新救命救急センターは平成 27 年 10 月から運用を開始しました。
- ガチ実践主義！！症例数、ハンパない！！  
手技をどんどんやらせてもらえます。1 年目から執刀もアリ。
- 災害医療それだけじゃない。  
東日本大震災の活躍で一躍有名になりましたが、それは、日ごろの教育・訓練があったからこそ。
- やりがい、給料、十二分！  
県内でも高水準の給料です。例えば当直も、1 回あたりの当直手当ではなく、働いた分の「時間外手当」で支給されます。
- 断らない→断れない救急（涙）  
救急車はほとんど断りません。地域に頼られています。
- 3 次救急！！…1 次も、救急！！  
3 次救急をやっていますが、ウォークイン患者も断りません。忙しいですが、かなりの力が付きます。
- 全力診療（ON）→フル充電（OFF）  
深夜勤務翌日は休みのほか、夏休み・冬休みもたっぷり。2 年目が終了するころには約 1 週間の修了旅行があります。

石巻は東日本大震災で大きく被害を受けた地域のひとつですが、病院周辺はほとんど被害がありません大型ショッピングセンターもありますし、飲食店も充実しています。寿司の街として栄えており、海の幸がとてもおいしい場所です。

## ■プログラム紹介（参考：平成 29 年度開始プログラム） ※平成 30 年度開始プログラム変更予定あり

- プログラム名／プログラム責任者 石巻赤十字病院臨床研修プログラム／院長 金田 巖
- 研修スケジュール 募集人数 12 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
1 年次	内 科						外 科		選択必修 （外科、脳神経外科、 整形外科）	救急科	小児科		
2 年次	内 科	地域医療	産婦人科	精神科 成田日赤	自由選択 （東北大学病院で放射線治療科、浦添総合病院、沖縄県立南部医療センター・ こども医療センターで救急科の研修可能）								

## ●協力型病院名（科目）

浦添総合病院（救急科）	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター（救急科）
成田赤十字病院（精神科）	東北大学病院（放射線診断科）
東北大学病院（放射線治療科）	

## ●協力施設

石巻ロイヤル病院	石巻市立病院	女川町地域医療センター
----------	--------	-------------

## ■教育体制

- オリエンテーション  
入職後、約 10 日間のオリエンテーションがあり。院内について知るほか、赤十字についてや、災害について、接遇について等の勉強会をみっちり行います。
- 勉強会
  - ・研修医セミナー（各科医師による講義、実技指導）
  - ・研修医症例発表会（年 2 回）
  - ・医局抄読会（週 1 回）
  - ・2 年間のうち 1 回は全国学会で発表
  - ・ER アップデート等外部セミナーへ参加
  - ・著名な先生を呼んでの外部講師によるセミナー
- 指導医に聞きやすい環境  
医局は集合医局となっており、指導医の先生に相談しやすい環境です。医局のソファで研修医が寝ている隣に指導医が座っていることしばしば…

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

common disease はもちろん、海と山に囲まれた土地柄、様々な症例に出会うことでしょう。そのような時、当院には後期研修医が多く、本に書かれていないようなちょっとしたコツやツボを先輩たちに聞きやすい環境にあります。また、26 診療科という多様な科に分かれながら、科の垣根がなくコンサルテーションできるのも魅力の一つです。医療の将来を担う皆さんにはぜひ、地域医療の最前線である当院で、医師としての最初の一步を踏み出してほしいと思います。

### ●先輩研修医から一言

石巻赤十字病院には、昨年 4 月に学生実習でお世話になりました。職員の方々が活発に挨拶をしている様子や指導医の先生方の丁寧なご指導に惹かれて研修病院として志望しました。震災当時の病院の対応の記録を見て、自分も日本赤十字社の一員として災害対応に力を発揮できるようになりたいとの思いを強くしましたが、その一面にとどまらず、活気があり、素晴らしい教育環境のある石巻赤十字病院で医師として成長していきたいと思えます。医師としての第一歩を踏み出した喜びと感謝の気持ちを忘れずに、日々謙虚な気持ちで医療に臨もうと思っています。また、病院外でも地域の活動に積極的に参加し、自分にとって新しい環境である石巻の地でたくさんのご縁をつないでいたらと思っているので、院外でも声をかけていただければ嬉しいです。未熟な身ではありますが、皆さんどうぞよろしくお願い致します。

## ■病院理念

- 赤十字精神をもって医療を行います
- 地域から信頼される病院を目指します
- 皆様と私たち職員の満足を大切にします

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

地域災害医療センター、地域周産期母子医療センター、がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院のほか、多くの学会の研修施設の認定を受けています。昨年平成 21 年 7 月には救命救急センターが稼働しました。年間約 6500 台以上の救急車を受け入れています。電子カルテや、いつでも画像が見られるフィルムレス（医用画像ネットワーク）システムを備え、臨床研修に最良な環境です。

### ●診療科・医師数

診療科名	内科	神経内科	精神科	呼内	消内	腫内	循内	外科	乳外	脳外	呼外	心外	整外	リハ	形成	産婦	小児
医師数	12	3	1	7	6	3	7	16	3	2	3	2	4	1	2	6	5
指導医数	6	3	1	5	4	3	3	9	1	1	2	1	2	0	1	2	1

診療科名	小外	耳鼻	眼科	皮膚	泌尿器	麻酔	緩和	放診	放治	病理	救急科	歯科	歯科口腔外科	検査	研修医	合計
医師数	1	2	2	2	4	6	1	4	1	2	9	1	2	1	26	147
指導医数	1	0	0	0	2	4	1	2	1	1	5	0	0	1	0	63

- 許可病床数 464 床（一般 460 床、感染症 4 床）
- 入院患者数（1 日平均）431.6 人
- 外来患者数（1 日平均）1,146.1 人
- 平均在院日数（一般病床）11.3 日
- 分娩件数 695 件
- 救急医療の提供実績 「断らない救急」を目標としており、救急車による搬送は年間約 6200 件で医療圏の約半分を受け入れています。平成 21 年 7 月には新型救命救急センターが稼働、平成 27 年 10 月には救命救急センターが拡充されました。東日本大震災後、三陸自動車道の工事が進んでいることから、県北の登米市や、南三陸町、気仙沼市からの搬送も増加しております。軽症から重症まで、また海と山に囲まれた土地柄、症例は多岐に渡り、医療圏の救急医療を一手に担っています。

- 医療法上の位置づけ 3 次医療機関
- 救急取扱件数 32,990 件
- 救急車取扱件数 6,514 件
- 救急医療を行う診療科 全診療科

※上記データは平成 27 年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成 28 年 12 月 1 日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数 7 年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当（実績等による目安） 【1 年次】400,000 円（月額、手当・税込）、6,400,000 円（年額、賞与・手当・税込）  
【2 年次】450,000 円（月額、手当・税込）、7,800,000 円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用 全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い 【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無 有り
- 出産育児等の支援体制 【院内保育園の有無】有り（院内保育園「げんきっず」があります。通常保育 7:30～18:00。病児・病後児保育あり。延長、夜間保育（週 3 日）有り。）

【その他】短時間勤務制度

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数 12 名
- 応募資格 112 回医師国家試験合格見込の者で、マッチングの参加者であること
- 応募必要書類 (1) 選考申込書(当院所定) (2) 履歴書(当院所定) (3) 卒業(見込み) 証明書 (4) 成績証明書 (5) 健康診断書
- 試験内容 (1) 書類審査 (2) 面接
- 申込締切日 平成 29 年 8 月 10 日
- 試験実施日 平成 29 年 8 月 21 日～ 25 日

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数 1 年次 13 名 うち女性 3 名  
2 年次 13 名 うち女性 4 名
- 研修医の主な出身大学 東北大学、弘前大学、岩手県立医科大学、秋田大学、山形大学、東京大学、東京医科歯科大学、東京女子医科大学、昭和大学、筑波大学、福井大学、岐阜大学、名古屋市立大学、福岡大学、九州大学
- 当直回数 5 回（1 年目の 6 月から開始。日勤・準夜・深夜の 3 交代制）
- 研修終了後の進路 東北大学病院、山形県立中央病院、中通総合病院、弘前大学医学部附属病院、大崎市民病院、九州大学医学部附属病院、産業医科大学病院
- 後期研修プログラムの有無 有り（血液内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、腎臓内科、腫瘍内科、循環器内科、外科、呼吸器外科、乳腺外科、脳神経外科、救急科、産婦人科、泌尿器科）

## ■申し込み、問い合わせ先

石巻赤十字病院  
教育研修センター

986-8522 宮城県石巻市蛇田字西道下 71 番地  
TEL 0225-24-6812 FAX 0225-96-0122  
E-mail resident@ishinomaki.jrc.or.jp

## ●当院の臨床研修の特色

- 24時間救急体制のため、救急症例数が豊富です。
- 遠隔画像転送システムで事前に救急車内の状況を把握し、ファーストタッチで指導医と相談しながら入院や帰宅まで進めているため、実践的な力がつきます。
- 研修医が少人数のため、様々な症例が経験でき手技を体得することができます。
- 研修医一人ひとりのペースに合わせて柔軟な研修ができ、希望にあった計画を相談しながら立てていきます。
- 専属スタッフが研修生活をサポートします。
- 診療科の連携がスムーズであるため、各科の指導医と顔見知りになるのが早く、他科をローテートしている間でも気軽に相談できる環境です。
- 学会参加や研修会等の旅費、宿泊費の支給（規定内）があります。
- ACLS 及び BLS 研修を受講し、スキルを修得することができます。（受講費支給）
- 他病院の救急科の協力型病院にもなっているため、研修医同士情報交換をしながら研修を進めて行くことができます。

## ■プログラム紹介（平成 29 年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：社会医療法人将道会 総合南東北病院 卒後臨床研修プログラム / 循環器センター長 密岡幹夫
- 研修スケジュール 募集人数 2 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次	内 科						救 急			外 科			麻酔科
2年次	地域医療	産婦人科	小児科	精神科	選択科								

## ●協力型病院名（科目）

宮城県立こども病院（小児科）	スズキ記念病院（産婦人科）
宮城県立精神医療センター（精神科）	一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院（内科、産婦人科）

## ●協力施設

あいのもりクリニック	介護老人保健施設サニーホーム
------------	----------------

## ■教育体制

- オリエンテーション  
入職後、コメディカル部門からの講義や見学、看護部と合同での実習や、医療安全、感染管理等の研修を約 1 週間行い、チーム医療を体験しながら院内について知っていただきます。
- 勉強会
  - ・全科臨床カンファレンス（週 1 回）、各科カンファレンス（毎日）
  - ・メディカルカンファレンス（月 1 回）＊院外講師による講演
  - ・臨床病理症例検討会（剖検症例検討会含む）（年 3 ～ 4 回）
  - ・救急事例検討会（月 1 回）＊近隣自治体の消防隊も参加
  - ・感染対策、医療安全他研修会（月 1 ～ 2 回）
- BLS、ACLS のプロバイダの資格取得
- 医局隣りに研修医室を配置しており、インターネットの利用環境も整っています。
- 希望する研修医には、院内だけでなく、院外でのトレーニング施設（東北大学クリニカルスキルラボ）でのトレーニングが可能です。
- 専属スタッフと 23 名の指導医が研修生活をがっちりサポート致します。

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

総合南東北病院は東日本大震災の被災地にある地域の中核的病院です。低侵襲脊髄手術センターをはじめ、先進的な医療にも力を入れている病院です。  
当院のプログラムは、本人の研修に対するニーズやスタイルに合わせた柔軟なプログラムを作成しております。  
当院の研修受け入れ定員は 1 学年 2 名と少人数ですが、他病院の協力型臨床研修病院にもなっており、そちらからの臨床研修医も受け入れています。そのため研修医同士の情報交換も十分可能です。  
当院は 271 床の中規模病院ですが、後期研修医も在籍しており、同年代の先輩にも相談ができる環境が整っております。研修終了後には、引き続き後期研修プログラムを受け、常勤医となることもできます。総合南東北病院での臨床研修プログラムは個々の医師にあわせた柔軟性のあるものとなっております。  
医師人生の最初の一歩を是非当院で踏み出してください。

### ●先輩研修医から一言

研修プログラムに自分たちが勉強したい要望を取り入れたたり、自分に合ったローテーションの作成や、病院で購入してほしい本など要望を聞いてもらえます。  
外科系が充実した病院ですので、様々な手技を身につけたい人には最適な病院だと思います。研修医の人数が少ないため、診療科の垣根もなく様々な診療科の先生方から指導をしていただけます。  
研修医本人のペースに合わせてゆっくりも、ガツガツもやってくれます。オン・オフをしっかりとつけて自分のペースで初期研修をやりたいと考えている人にはぴったりの病院だと思いますので、是非一度見学に来てみてください。

## ■病院理念

- 【院 是】 すべては患者さんの為に
- 【基本理念】 皆さんが安心して暮らせ、心の支えとなる病院に

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

仙台以南地域の救急医療を担う中核的基幹病院です。脳神経外科、消化器科、循環器科、外科、整形外科など 22 の診療科を有し救急搬送患者数は年間 2,500 件を超えるため、急性期から慢性期、在宅医療まで幅広く診ることが出来ます。  
二次医療圏のメディカルコントロールの拠点としても機能し地域の救急医療のレベルアップにも取り組んでいます。  
急性期医療だけでなく、発症後の QOL を高めるために早期よりリハビリを実施し、社会復帰をサポートする体制も充実していますので、一貫して患者を診ることが出来ます。

### ●診療科・医師数

診療科名	脳神経外科	救急科	泌尿器科	外科	循環器科	消化器科	呼吸器科	整形外科	麻酔科	神経内科	放射線科	リハビリテーション	合計
医師数	9	1	1	4	4	3	1	2	3	2	2	2	34
指導医数	6	1	1	3	3	2	1	1	2	2		1	23

- 許可病床数：271 床（一般 271 床）
- 入院患者数（1 日平均）：245.2 人
- 外来患者数（1 日平均）：360.6 人
- 平均在院日数（一般病床）：15.5 日
- 分娩件数：0 件
- 救急医療の提供実績：二市二町（岩沼市、名取市、亶理町、山元町）の病院群輪番制病院等運営事業による二次救急指定病院を受託しており、休日夜間を問わず 24 時間 365 日救急の受入れをしています。また地域のメディカルコントロールの拠点として、遠隔画像転送システムを採用し地域救急隊員の教育と連携の強化に努めています。
- 医療法上の位置づけ：2 次医療機関
- 救急取扱件数：4,961 件
- 救急車取扱件数：2,564 件
- 救急医療を行う診療科：脳神経外科、外科、救急・麻酔科、循環器科、消化器科、整形外科、呼吸器科、神経内科

※上記データは平成 27 年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成 28 年 12 月 1 日現在です。  
※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数 7 年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処 遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1 年次】545,000 円（月額、手当・税込）、6,540,000 円（年額、賞与・手当・税込）  
【2 年次】605,000 円（月額、手当・税込）、7,260,000 円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】有り
- 宿舍の有無：有り（借上住宅、家賃上限 70,000 円迄支給）
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（開所時間 8：00 ～ 18：00（延長 19：00 まで）、夜間保育有）  
【その他】育児短時間勤務、保育手当 等

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：2 名
- 応募資格：平成 30 年医師免許取得見込みの者、または医師国家試験合格者
- 応募必要書類：(1) 履歴書 (2) 卒業（見込み）証明書 (3) 成績証明書
- 試験内容：(1) 書類審査 (2) 面接 (3) 健康診断
- 申込締切日：定員となるまで受付しております
- 試験実施日：随時（応募者と相談の上で決定）

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中の人数：1 年次 0 名 うち女性 0 名  
2 年次 1 名 うち女性 0 名
- 研修医の主な出身大学：長崎大学、帝京大学
- 当直回数：月平均 1 ～ 2 回（指導医の下で副直、当直回数は希望により調整可）
- 研修終了後の進路：
- 後期研修プログラムの有無：有り（脳神経外科、外科、救急・麻酔科、循環器科、消化器科）

## ■申し込み、問い合わせ先

社会医療法人将道会 総合南東北病院  
総務課 臨床研修担当

989-2483 宮城県岩沼市里の杜 1 丁目 2 番 5 号  
TEL 0223-23-3151 FAX 0223-23-3150  
E-mail [dr@minamitohoku.jp](mailto:dr@minamitohoku.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

当院は幾つかの分野において特色のある診療を展開しており、この特色を生かせることを希望し、このような分野において将来専門医を目指す研修医が、初期研修義務化の目的である“プライマリーケアの診療を身につける”ことを第一義的目標としています。

1年次は外科3ヶ月、救急部門3ヶ月（総合診療科1ヶ月、麻酔科1ヶ月、当直業務）、残6ヶ月の内科は腎臓内科（2ヶ月～3ヶ月）、高血圧・糖尿病内科、循環器科、消化器科、呼吸器科と協力病院である仙台オープン病院での消化器、循環器、救急部などから選択するというプログラムです。2年次における地域医療研修においては、農村地域における在宅医療、プライマリーケアが濃厚に経験できる協力施設を用意しています。希望選択科の8ヶ月においてはそれぞれの希望に合せ、スーパーローテートを組んでも良いですし、またスペシャリストとしての半歩を歩み出すのも良いでしょう。

平成30年度のプログラムでは1年次に内科系6ヶ月、外科系6ヶ月、2年次に救急（仙台オープン病院・JCHO 東京新宿メディカルセンター）3ヶ月、小児（仙台市立病院）2ヶ月、地域（栗原市立若柳病院、松田病院、網小医院）約1ヶ月、選択6ヶ月とさらに充実した研修プログラムとなります。

## ■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム） ※平成30年度開始プログラム変更予定あり

- プログラム名／プログラム責任者：独立行政法人地域医療機能推進機構仙台病院臨床研修プログラム／天田 憲利
- 研修スケジュール 募集人数2名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	外科(4月利エリシヨ1週間程度)			救急部門			内科					
2年次	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	希望選択科							

## ●協力型病院名（科目）

仙台市立病院（小児科）	東北公済病院（産婦人科）
国見台病院（精神科）	仙台オープン病院（内科・救急部門）

## ●協力施設

栗原市立若柳病院	松田病院	仙台市青葉区保健福祉センター
宮城県赤十字血液センター		

## ■教育体制

- ・腎センター症例検討会 毎週1回
- ・CPC（臨床病理検討会）
- ・AED/BLS研修 院内インストラクターによるAED/BLS使用方法の研修
- ・勉強会／研修会 医療安全（年12回）、感染対策（年6回）、院内業績・研究発表（年1回）など

## ■メッセージ

- 指導医から一言
 

当院の特徴は何といっても腎臓疾患の臨床・研究で世界をリードする腎臓疾患臨床研究センターの存在です。IgA腎症から腎不全への進行を口蓋扁桃の摘出とステロイドのパルス療法で防止する治療法を世界に先駆けて開発し、全国に普及してきています。

また外科は年間20例以上の腎移植を行い、日本で有数の症例数と治療成績をもっています。血管外科による創傷ケアセンターはアメリカの会社と提携し、最新の創傷治療技術を患者さんに提供しています。また泌尿器科は鏡視下手術が多く、腎細胞癌関連の腎摘数が全国で5本の指に入るほどの高度の医療レベルを誇っています。更に整形外科の腰痛・仙腸関節センターには、日本仙腸関節研究会の事務局が置かれ、腰痛の大きな部分を占める“仙腸関節の痛み”の日本のセンターとして治療しています。

当院での研修で、医療人として大きな自信をもって踏み出せることを先輩研修医が証明しています。当院には、人真似ではなく、患者からヒントを得て、世界的な治療を生み出してきた歴史と伝統があります。その空気に触れることが将来への大きな財産になることは間違いありません。“広く浅くも良いが、初めに一流に触れることが君の将来を決める”と確信します。若き研修医を目指す学生の皆さん！一緒に学びましょう！
- 先輩研修医から一言
 

JCHO仙台病院では、急性／慢性の様々な腎疾患症例に加え、基礎疾患に腎不全などを有する内科疾患／手術症例など多くの症例を経験できます。

## ■病院理念

全ての職員は  
 おおらかな気持ちと  
 プロフェッショナルとしての自覚を持ち  
 患者様と共に闘い 時に励まし 時には見守る  
 ここに集う人々全てが  
 満足できる病院に

## ■診療内容

- 診療の特徴、実績
 

当院は、17診療科と6センターで構成する病床数428床の総合病院で、一般診療から高度医療まで対応しています。特徴としては腎疾患症例が多く、全診療科において腎疾患に関連した症例を診療しています。腎内科（腎センター）や小児科では豊富な腎炎治療の実績があります。外科においては、積極的に鏡視下手術を行っており、さらに腎移植や血管外科の症例も多いのが特徴です。泌尿器科では腎悪性腫瘍手術を中心に豊富な手術件数を誇っており、その他診療科に於いても高レベルの診療が行える環境が整っています。

## ●診療科・医師数

診療科名	総合診療	高・糖	呼吸	消化	循環	小児	外科	整形	皮膚	泌尿
医師数	1	2	1	2	3	1	7	5	1	5
指導医数	1	2	0	2	1	1	5	1	0	1

診療科名	腎臓	婦人	耳鼻	放射	麻酔	口外	眼科	健診	検査	合計
医師数	19	1	2	1	6	2	1	2	2	63
指導医数	2	0	0	0	2	0	0	1	1	19

- 許可病床数：428床（一般428床）
- 入院患者数（1日平均）：308.8人
- 外来患者数（1日平均）：486.2人
- 平均在院日数（一般病床）：15.2日
- 分娩件数：0件
- 救急医療の提供実績：当院の救急医療の位置づけは救急告示病院として二次救急医療機関となっております。東北大学病院の地域医療連携施設として登録され、地域の多発性外傷輪番病院郡に加わり場合によっては三次救急に近い症例の治療を行うこともあります。年間約34,000件近い透析医療を扱い、その中で救急症例を扱う場合もあります。

- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：5,220件
- 救急車取扱件数：1,160件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。  
 ※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
 ※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】492,640円（月額、手当・税込）、884,000円（年額、賞与・手当・税込）  
 【2年次】513,752円（月額、手当・税込）、1,358,000円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：健康保険組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：無し
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（開所時間8:00～19:00）  
 【その他】育児短時間制度

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：2名
- 応募資格：平成29年度医師国家試験受験予定者
- 応募必要書類：(1)履歴書 (2)卒業（見込）証明書 (3)成績証明書
- 試験内容：面接
- 申込締切日：平成29年9月30日
- 試験実施日：平成29年9月頃予定

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中の人数：1年次 0名 うち女性 0名  
 2年次 0名 うち女性 0名
- 研修医の主な出身大学：-
- 当直回数：5回
- 研修終了後の進路：-
- 後期研修プログラムの有無：有（腎臓内科、外科、泌尿器科、放射線科、麻酔科）

## ■申し込み、問い合わせ先

独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO) 仙台病院 981-8501 宮城県仙台市青葉区堤町三丁目16番1号  
 総務企画課 TEL 022-275-3598(ダイヤル) FAX 022-234-4194  
 E-mail soumu@sendai.jcho.go.jp

## ●当院の臨床研修の特色

少数精鋭のマンツーマン指導で初期研修期間では1人あたりの経験数が多いのが特徴です。救急車の受入件数も月平均で400件を超えて、その中から幅広い症例を経験し、手技も多く経験できます。40年の徳洲会グループでの伝統的なスーパーローテート方式を取りながらも当院は柔軟な指導体制があります。研修医は各科指導医の下で平均10～15症例の主治医となり診療にあたります。連日指導医と共に診療にあたる一方、担当科以外の症例の検査や手術にも積極的に参加できるように連携し、調整を図っています。また2年次では全国と同じ徳洲会系列の病院で2か月間の離島・僻地医療の経験を積むことが出来るのも魅力です。

研修医の学べる機会としては週に一度、医局で症例カンファレンスを行い、各科研修科終了時には症例報告会を行い、優れたものは学会で発表して頂きます。他には全国の系列の徳洲会病院の研修医たちと合同で研修や勉強会、各種セミナーが年に数回ありますのでスケールメリットを利用して、同期・先輩医師とも横のつながりを持つことも出来ます。

これからも仙台徳洲会病院では高次救急からプライマリケアに至るまで多くのものを習得できるようにバックアップしていきます。

## ■プログラム紹介 (参考：平成29年度開始プログラム)

- プログラム名／プログラム責任者：仙台徳洲会病院 初期研修プログラム／佐野 憲
- 研修スケジュール 募集人数2名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						外科			麻酔科 救急		
2年次	小児科	精神科	産婦人科	地域医療			選択科					

### ●協力型病院名 (科目)

国見台病院 (精神科)	東北労災病院 (小児科)
東北公済病院 (産婦人科)	静仁会静内病院 (地域医療)
庄内余目病院 (地域医療)	名瀬徳洲会病院 (地域医療)

他3施設

### ●協力施設

帯広徳洲会病院	札幌南青洲病院	屋久島徳洲会病院
喜界徳洲会病院	瀬戸内徳洲会病院	沖永良部徳洲会病院
与論徳洲会病院	宮古島徳洲会病院	

他11施設

## ■教育体制

- オリエンテーション (各診療科、コメディカル毎)
- 症例検討会 (研修医向け、毎週朝1回)
- 医局症例検討会 (年2,3回程度)
- 各科勉強会 (随時、コメディカル主催は複数回)
- 学会発表、研究会参加 (年10万円まで費用補助)
- 徳洲会グループでの合同研修会等 (年2回)

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

初期臨床研修期間の2年間は今後の医師人生を左右する非常に重要な期間と位置づけております。その中で充実した研修生活を送るには、実際に自分でできる症例の多さがポイントになります。当院は月に400件を超えてくる宮城県内でも有数の救急車の受入件数があり、豊富な症例を用意しており、定員数も少数のため、個別に研修医の指導にあたる時間数も多くなります。

病院内は職員の顔も分かるアットホームな雰囲気の中でコミュニケーションが取れて、研修医は仕事ができます。交通アクセスも便利な仙台の地下鉄沿線に病院は位置していますので、地域における救急を体感して頂きながらも、全国の研究会や勉強会への参加はスムーズに行くことができ、学会発表や論文作成も積極的に行支援します。我々スタッフも研修医と共に勉強し、病院全体を盛り上げていきたいと考えています。

### ●先輩研修医から一言

救急対応件数が多いのは単に数が多いことだけではなく、幅広い疾患の症例を経験する機会があることです。一人一人の研修医に合わせて、丁寧に時間を掛けて教えてもらえます。当院では、自分のペースに合わせて研修をすることが出来ます。それは仕事以外の時間も大事にし、メリハリのある生活で研修が出来る環境にあることです。

充実した初期権研修をしたい人には指導医からマンツーマンで教わって、その日の疑問や分からないことがあってもすぐに確認ができて、納得がいくまで付き合ってもらっています。

みなさんも病院見学実習に来て頂ければ、実際の現場をみせて、実習の対応を随時しますので雰囲気を確かめに来て下さい。楽しみに待っています。

## ■病院理念

《病院理念》

- 生命を安心して預けられる病院
- 健康と生活を守る病院
- 「あなたとあなたの家族によりそう」

ビジョン

- 「安全 快適 自己実現」 ※休日・夜間でも安心して最善の医療が受けられる地域医療を実現します。

《研修理念》

より高度な「臨床」、「研究」、「教育」を実現させるために臨床医として基本的知識、技術を習得し社会人として成長した医療人を育成する。

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

急性期医療が中心で、宮城県内でも有数の救急車受け入れ病院となっています。腹部外科をはじめ脳神経外科、整形外科そして消化器内科の緊急治療体制を整えています。また24時間体制のハートセンターを設置し、急性冠症候群へのインターベンション治療も盛んに行っています。一方で、プライマリケア、地域医療に対しても開業の先生方と連携し力を注いでおり、バランスの取れた医療を行っています。

### ●診療科・医師数

診療科名	内	循	外	整外	脳外	泌	心外	麻	皮	放	健診	呼外	合計
医師数	6	1	4	1	2	1	2	3	1	1	2	1	25
指導医数	2	0	2	0	0	1	2	1	1	0	0	1	10

- 許可病床数：315床 (一般 315床)
- 入院患者数 (1日平均)：182.8人
- 外来患者数 (1日平均)：252.9人
- 平均在院日数 (一般病床)：18.2日
- 分娩件数：0件
- 救急医療の提供実績：地域の基幹病院としての救急医療を担えるべく院内体制を整備し、日当直でも内科系・外科系医師2名を配置、すべてのコメディカル部門も日当直をしています。検査では、時間外においても腹部エコー・心エコー・採血・全身CT・MRI等ほとんどの検査が可能であり、通常診療時間帯と同様の正確かつ迅速な診断が可能です。

- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：10,644件
- 救急車取扱件数：4,513件
- 救急医療を行う診療科：内科系 / 外科系 / その他 (整形外科 / 脳外科)

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当 (実績等による目安)：【1年次】420,000円 (月額、手当・税込)、5,500,000円 (年額、賞与・手当・税込)  
【2年次】490,000円 (月額、手当・税込)、6,600,000円 (年額、賞与・手当・税込)
- 研修医に対する各種保険等の適用：組合健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り (病院借上げ)
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り (月～金曜 7:30～18:30 (夜間保育有り)、土曜 7:30～18:30 (隔週 7:30～13:30))
- 【その他】短時間勤務制度等

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：2名
- 応募資格：平成30年医師国家試験合格見込者
- 応募必要書類：(1)履歴書 (2)健康診断書 (大学発行のもので可)
- 試験内容：面接、但し事前の病院見学を必須とします。
- 申込締切日：平成29年9月末頃の予定
- 試験実施日：随時

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1年次 0名 うち女性 0名  
2年次 1名 うち女性 0名
- 研修医の主な出身大学：群馬大学
- 当直回数：4回
- 研修修了後の進路：仙台徳洲会病院、東北大学院、他病院
- 後期研修プログラムの有無：有り (内科、外科、プライマリケア)

## ■申し込み、問い合わせ先

医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院  
総務課

981-3131 宮城県仙台市泉区七北田字駕籠沢15  
TEL 022-372-1110 FAX 022-372-1499  
E-mail kei-sasaki@sendai.tokushukai.or.jp

## ●当院の臨床研修の特色

「各分野で若くして活躍できる、専門志向の医師を育てています」  
 当院は総合病院方式をとらず、心臓血管・呼吸器・消化器の大型3センターに人材と医療資源を集中投入し、これらの領域における最高水準の診断と治療を提供しています。各センターはわが国でその領域を代表する医師を中心とした高度かつ大型のチーム体制を敷き、最先端の機器を導入して診療にあたっています。1年目では内科、外科、救急をローテート。2年目では小児科、産婦人科、精神科、地域医療の研修と、約7ヶ月の自由選択期間を設けています。また、麻酔科指導医のもと中心静脈カテーテル挿入プログラムを導入し、安全かつ確実な技術の習得を計っています。自由選択期間では、必修および選択必修科目のほか、心臓血管外科、放射線科、麻酔科、病理診断・臨床検査科、神経内科、脳神経外科より複数選択可能です。  
 さらに、6人当直体制により救急体制も充実しており、副当直時には各科の指導医とともに診察を行うことが出来ます。そして、1人あたりの経験できる症例・手技が多いことも当院の特色です。また、各種学会の専門医・認定医の指導施設であり、新専門医制度にも対応したプログラムの下、臨床研修から後期研修へとシームレスに続けることが可能です。研修をサポートする環境も整っています。研修医室の隣には医学教育支援室があり、メンタル面も含めたきめ細かいフォローを行います。院外においては、徒歩1分の距離に新入職員向け宿舎があり、プライベートも安心・快適に過ごせます。ホームページや説明会でご案内しておりますように、当院の臨床研修では小児科や交通外傷、脳血管疾患、産婦人科、精神科については協力病院での研修となります。外部の病院の現場を経験することもまた、研修医としての経験や見識を充実させると考えます。最高水準の医療に接し、評価の高い優秀医師のもとでの研修は、一流の医師を目指す上で何ものにも代えがたい経験となることでしょう。

## ■プログラム紹介 (参考：平成29年度開始プログラム)

●プログラム名／プログラム責任者：仙台厚生病院卒後臨床研修プログラム／遠藤 希之  
 ●研修スケジュール 募集人数 10名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						外科			救急・外科		
2年次	救急・外科	地域医療	精神科	産婦人科・小児科	選択科							

## ●協力型病院名 (科目)

東北大学病院 (産婦人科)	宮城県立こども病院 (小児科)
宮城県立精神医療センター (精神科)	総合南東北病院 (救急部門)
気仙沼市立病院 (救急部門)	広南病院 (神経内科、脳神経外科)

## ●協力施設

古川星陵病院	宮城県赤十字血液センター	宏人会木町病院
羽二生クリニック	仙台往診クリニック	永仁会病院
JCHO 仙台病院		

## ■教育体制

オリエンテーション：入職後1週間は、患者や他職種とのコミュニケーションを学ぶため病棟での実技実習の他、各部署の講義(医療安全・感染対策等)を受けます。  
 Sendai Kousei Doctor's Boot Camp：4～5月には、基礎知識や基礎手技等を身につけるため、座学やシミュレーターを用いた実習・基本手技(採血や静脈確保)を集中的に行い、自信を持って6月以降の専門科研修に入ってもらいます。  
 勉強会：4月～5月に集中講義を行い、その後は月2回程度実施。各診療科の講義の他、医療安全管理、院内感染対策、診療録・処方箋の書き方、診療報酬等幅広い内容で行い、BLS、ACLS講習、CVシミュレーター実習等も行います。  
 カンファレンス：シネカンファレンス、画像カンファレンス、合同カンファレンスなど各科において実施しています。  
 研修医による症例発表：充実の指導体制下に2年間のうち院内では2回、学会発表は1回以上発表の機会を設けます。  
 臨床病理検討会(CPC)：認定病理医2名の強力なバックアップのもと毎月第4月曜日に病院全体で開催しています。

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

各センターの診療レベルはトップクラスです。当院での臨床研修から後期研修へと進んだ医師は、若くして多くの症例経験を積み、日本のみならず海外へもその活躍の場を広げています。自分の家族が病気になっても安心して任せられる高い診断能力と技術を持った医師に育てたいと思っています。志高い研修医の皆さんをお待ちしています。

### ●先輩研修医から一言

当院の救急患者数は非常に多く、高水準の医療現場で様々な症例に触れ、気管挿管・中心静脈ライン挿入等の手技を、指導医の先生の監督下でしっかり身に付けることができます。懸念していた協力病院での研修も、その分野において最良の施設が選ばれているので、良い経験になりました。どの科に進むとしても、最先端の医療・指導医と出会うことにより、充実した2年を過ごし、足元を固めてその後に続けることができると思います。特に、将来の志望が明確な人、最先端の専門医療を学びたい人にはお勧めです。是非一度見学にいらしてください。

## ■病院理念

患者さんの人権と人格を尊重した医療に徹します。全職員連携し、高度先進医療の修得と実践に努めます。  
 ～病と闘う人のために 病と共に生きる人のために～  
 基本方針

- ・日々研鑽を積み医学交流を積極的に行います。
- ・基幹病院として地域の病院、医院との連携診療を密接に行います。
- ・心臓センターを中核として救急医療を積極的に展開します。
- ・生活習慣病との闘いを支援し疾病発生の予防に貢献します。
- ・「曲げず、隠さず、迅速に」を原則とし情報開示を進めます。

## ■診療内容

●診療の特徴、実績  
 <地域医療支援病院>  
 高度先進医療と救急医療に力を入れ診療所や病院と病診連携を結び、1,300名を超える登録医の先生方からの紹介患者、救急患者を中心に診療を行います。  
 <3センターで東北1位を記録>  
 心臓血管センターは虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)の症例数で9年連続東北1位(全国2位)。特にカテーテル手術件数では7年連続で東北1位、全国6位にランクし、心臓バイパス手術も東北1位の実績があります。消化器センターでは胃がんの内視鏡手術数が東北2位(全国7位)、肝胆膵がん手術東北4位、呼吸器センターでは肺がん手術数が東北1位等多くの部門でも常に上位の実績を誇っています。  
 <モービルCCU>  
 一分一秒を争う、救急患者のもとへ医師と看護師が乗り込み、救急車で治療が可能となるモービルCCU。心筋梗塞に威力を発揮します。

### ●診療科・医師数

診療科名	循内	心外	麻	消内	肝内	消外	呼内	呼外	糖代謝内	放	病理	結腸センタ	その他	合計
医師数	25	6	5	15	1	11	14	4	1	8	3	2	5	100
指導医数	3	1	4	5	0	6	4	1	0	4	1	1	0	30

- 許可病床数：409床
- 入院患者数(1日平均)：398.4人
- 外来患者数(1日平均)：339.8人
- 平均在院日数(一般病床)：8.8日
- 分娩件数：0件
- 救急医療の提供実績：一刻一秒を争う急性心疾患に対しては365日24時間体制で、3人の心臓専門医をはじめとする心臓血管センタースタッフが常駐。喀血や急性呼吸不全への積極的な対応も可能です。モービルCCU(心臓専門医と看護師が救急車に乗って紹介先医療機関に向かい、搬送中の治療も可能にするシステム)は2台稼働し、実績をあげています。

- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：5,349件
- 救急車取扱件数：3,593件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。  
 ※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
 ※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当(実績等による目安)：【1年次】450,000円(月額、手当・税込)、6,426,000円(年額、賞与・手当・税込)  
 【2年次】514,000円(月額、手当・税込)、7,334,000円(年額、賞与・手当・税込)
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】任意 【個人加入】有り
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り(開園時間:7:30～19:00(延長・泊まり保育有)生後9週～就学前の子を対象)  
 【その他】育児短時間制度

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：10名
- 応募資格：(1)平成30年3月医師免許取得見込みの者 (2)マッチングに登録している者
- 応募必要書類：(1)履歴書 (2)卒業(見込)証明書
- 試験内容：(1)面接 (2)書類審査
- 申込締切日：平成29年8月～9月(予定)
- 試験実施日：平成29年8月～9月(予定)

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1年次 3名 うち女性 1名  
 2年次 1名 うち女性 1名
- 研修医の主な出身大学：筑波大学、熊本大学、横浜市立大学、東海大学
- 当直回数：4回
- 研修終了後の進路：当院 等
- 後期研修プログラムの有無：有り(循環器内科、心臓血管外科、呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、消化器外科、放射線科、麻酔科、病理)

## ■申し込み、問い合わせ先

一般財団法人厚生会 仙台厚生病院  
 総務部庶務課

980-0873 宮城県仙台市青葉区広瀬町4番15号  
 TEL 022-222-6181 FAX 022-267-0856  
 E-mail [kenshu@sendsai-kousei-hospital.jp](mailto:kenshu@sendsai-kousei-hospital.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

気仙沼地域は県都でもある仙台医療圏から離れていることもあり、急性期医療をはじめ大半の医療提供（精神科疾患を除く）を本市立病院が行っております。

このことから、地域完結型医療の実践を目指し、日々診療にあたっております。

臨床研修では、近隣に同規模の病院がないため、症例が豊富で、とにかく実際に研修医が直接検査や治療に携わることにより、早い時期から高い技術の習得が可能となります。見ているだけではスキルアップにつながりにくく、その点で当院の積極的に手を出す研修は非常に有効であると考えます。

## ■プログラム紹介（参考：平成 29 年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：気仙沼市立病院群臨床研修プログラム／星 達也
- 研修スケジュール 募集人数 6 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	内科（一般内科・循環器科・呼吸器科）						救 急			選択科若しくは選択必修科		
2 年次	選択科若しくは選択必修科			地域医療			選択科					

## ●協力型病院名（科目）

医療法人移川哲仁会 三峰病院（精神科）	医療法人くさの実会 光ヶ丘保養園（精神科）
---------------------	-----------------------

## ●協力施設

医療法人敬仁会 大友病院	医療法人社団泰清会 小野医院	鈴木医院
医療法人尚仁会 森田医院	釜石ファミリークリニック	気仙沼市立本吉病院

## ■教育体制

最初の一週間はオリエンテーションとして、医事課の他、薬剤科、リハビリテーション科など診療技術部での講義・見学・実習などを行い、医師以外の病院内の業務について体験する中でチーム医療を理解し、医療安全や院内感染防止については、看護部と合同での研修を後日（4 月中旬に）受けていただきます。

診療科では、各科毎にカンファランスを行っており、全科を通じた CPC も行なっています。これらには、研修医は自由に参加できます。

また、院内で開催される研修会への参加も当然ながら可能で、院外の研修会へも必要に応じて参加できます。

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

各診療科には経験豊富な指導医がおり、目標達成するための体制は出来ております。

研修自体は本人のやる気次第でいくらでも良くなります。指導医から学ぶのも大切ですが自分の中で問題を強く認識し、考え、解決していこうとする姿勢が望まれます。時には回り道もあるかもしれませんが、マニュアル的に考えるのではなく、問題に立ち向かう事が重要だと考えます。

### ●先輩研修医から一言

当院は地域完結型の病院であり、気仙沼医療圏としては南三陸～大船渡の沿岸地域、一部の一関と広い医療圏を持っていっていることが特色で、幅広い症例に恵まれております。また、研修医の数が少ないため、一人一人が非常に様々な症例を経験でき、手技も幅広く身に着けられます。また、院内のスタッフの方々も親切に接して下さり、有意義でのびのびと研修を送ることが可能です。港町なので新鮮な海の幸や美味しいお酒も味わえます。学生さんの見学はいつでも大歓迎ですので、まずは自分の目で確かめに来てください。お待ちしております。

## ■病院理念

患者さん第一の医療  
親切と優しさを基にした医療  
感謝の気持ちを忘れぬ医療  
病院機能の充実

## ■診療内容

- 診療の特徴、実績  
三陸沿岸の基幹病院として、宮城県沿岸北部はもちろんのこと、岩手県南部からも患者さんが来院しており、様々な症例を経験できます。また、当地域の事情から、完結型の医療が求められている病院であり、種々の高度医療も行なっています。さらに、災害拠点病院、地域周産期センター等にも指定され、質の高い医療の提供に努めています。

### ●診療科・医師数

診療科名	内	呼	循	小	外	整	脳	産	眼	耳	泌	皮	麻	合計
医師数	8	2	4	2	9	4	2	2	2	0	3	1	1	40
指導医数	5	1	1	1	5	1	1	1	0	0	1	0	1	18

- 許可病床数：404 床（一般 400 床、感染症 4 床）
- 入院患者数（1 日平均）：271.5 人
- 外来患者数（1 日平均）：1,042.7 人
- 平均在院日数（一般病床）：14 日
- 分娩件数：440 件
- 救急医療の提供実績：気仙沼医療圏の救急告示病院としては、唯一の総合病院であり、重症患者から軽傷患者まで幅広く受け入れており、当医療圏内救急車搬送患者の 9 割近くが当院に搬送されています。また、救急輪番制に参加し、365 日が当番日となっていることから昼夜を問わず救急対応を行っています。
- 医療法上の位置づけ：2 次医療機関
- 救急取扱件数：7,756 件
- 救急車取扱件数：1,593 件
- 救急医療を行う診療科：内科系／外科系／その他（全科）

※上記データは平成 27 年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成 28 年 12 月 1 日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数 7 年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<https://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処 遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1 年次】600,000 円（月額、手当・税込）、7,200,000 円（年額、賞与・手当・税込）  
【2 年次】700,000 円（月額、手当・税込）、8,400,000 円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：1 年目：協会けんぽ、厚生年金、労働者災害補償保険、退職手当組合  
2 年目：市町村職員共済組合、地方公務員災害補償、退職手当組合
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】有り
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】無し  
【その他】無し

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：6 名
- 応募資格：平成 29 年度医師国家試験受験予定者
- 応募必要書類：(1) 平成 30 年度臨床研修医選考申込書 (2) 履歴書 ※指定用紙がありますので連絡があれば送付します。
- 試験内容：面接
- 申込締切日：平成 29 年 8 月末
- 試験実施日：随時（ホームページにて掲示あり）

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1 年次 6 名 うち女性 0 名  
2 年次 6 名 うち女性 1 名
- 研修医の主な出身大学：東東北大学・産業医科大学・北海道大学・山形大学・岩手医科大・山梨大学・高知大学・弘前大学
- 当直回数：3 回（全科当直が必要な場合はオンコール（携帯）にて、他の専門医の呼び出しが可能です。）
- 研修終了後の進路：おもに当院において後期研修を行っております。
- 後期研修プログラムの有無：無し（公開しているプログラムはありませんが、内科、外科、小児科、産婦人科、脳神経外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、麻酔科で可能です。それぞれの学会から専門医修練施設の認定を受けています。）

## ■申し込み、問い合わせ先

気仙沼市立病院  
総務課総務係

988-0052 宮城県気仙沼市田中 184 番地  
TEL 0226-22-7100 FAX 0226-22-3121  
E-mail [shomu@kesenuma-hospital.jp](mailto:shomu@kesenuma-hospital.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

- ①オリエンテーション後、内科(循環器・腎臓内科/消化器内科/呼吸器内科/神経内科)8～9ヶ月、救急科2～3ヶ月、外科2～3ヶ月、小児科1ヶ月を研修する。
- ②4月から始める研修科は通常2ヶ月のところ3ヶ月とする。
- ③救急科では麻酔科実習(気管挿管)も行う。
- ④救急科2ヶ月に時間外救急外来勤務を合算して合計3ヶ月の救急部門研修と認定する。
- ⑤自由選択科9ヶ月は上記診療科以外に糖尿病代謝内科、腎・高血圧・内分泌科、血液内科、産婦人科、整形外科、皮膚科、形成外科、脳神経外科、泌尿器科、麻酔科、精神科、呼吸器外科、緩和医療科が選択できる。
- ⑥自由選択期間は9ヶ月で、各科最低2ヶ月で最大4科まで選べる。
- ⑦外部病院への研修は最大2ヶ月までとする。
- ⑧精神科は原則2週間だが、希望により1ヶ月まで認める。

## ■プログラム紹介 (参考：平成29年度開始プログラム)

- プログラム名/プログラム責任者 : みやぎ県南中核病院研修プログラム/高橋 道長
- 研修スケジュール 募集人数9名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1年次	消化器・腫瘍内科			呼吸器内科			循環器内科			神経内科			外科	救急
2年次	救急	小児科	地域	選択科										

## ●協力型病院名 (科目)

宮城県立がんセンター (呼吸器外科、血液内科、緩和医療科)	宮城県立精神医療センター (精神科)
みやぎ県立こども病院 (小児科)	東北大学病院 (腫瘍内科、腎・高血圧・内分泌科、血液免疫科、産婦人科、精神科)
スズキ記念病院 (産婦人科)	独立行政法人国立病院機構 宮城病院 (神経内科)

## ●協力施設

丸森町国民健康保険丸森病院	岡部医院	平井内科
みやぎ県南中核病院附属村田診療所	南桜ホームケアクリニック	宮城県赤十字血液センター

## ■教育体制

①オリエンテーション 研修開始時オリエンテーション、研修開始後6ヶ月間早朝講義、採血やCVライン穿刺などのシミュレーター実習
②カンファレンス モーニングケースカンファレンス、画像カンファレンス、消化器病合同カンファレンス、病院全体の抄読会、救急医療抄読会月1回、救急症例検討会 年4回、CPC 隔月、研修医報告会 (年4回)、その他、カンサーボード検討会、不定期招請講演、各科抄読会など
③当直 月4回 当直後職務専念義務免除 単独当直なし ペア当直体制と各科 オンコール
④運営 研修医と指導医の懇談会(隔月) で具体的な問題点を協議

## ■メッセージ

<p><b>●先輩研修医から一言</b></p> <p>私がこの病院を初期研修先として選んだ理由は、内科医志望でメジャーな内科がそろっている病院だったからです。内科は消化器、循環器、呼吸器、神経の主要4科を1年時に必修で2ヶ月ずつまわりますが、どの科もレベルの高い診療が展開されています。1年目でこのような内科各領域を8ヶ月間の十分な時間を取って偏り無く研修できることはとても魅力的だと思われま。</p> <p>また、当院での救急外来での当直は日々勉強になります。研修医がまず患者さんを診察して検査をオーダーして診断していくという流れを数え切れないほど行うことになります。半年も経つと、ある程度の疾患の診断はできるようになり、力がメキメキついていくのがわかります。救急外来では研修医がたくさんの手技、たくさんの救急疾患を経験することができます。これは当院での強みであると考えます。一人ですまず考える時間があり、このような時間が大切であると思われま。</p> <p>さらに同期の研修医が7人ということで同期は皆とても仲が良く研修医室で楽しくお話ししたり、日常診療でわからないことを相談し合ったりしています。僕以外の6人は気さくで皆優しく、僕が困っていると助けてくれることが多々あります。感謝してもしきれません。こんな僕たちも4月から2年目になります。僕たちが1年間で学んだことを後輩に伝え、またさらに経験を積んで困っている患者さんを全力で助けたいと思います。</p>
--

## ■病院理念

地域に信頼される、安全で質の高い、親切的な医療サービスを提供する。

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

- ①救急医療 (地域救命救急センター指定、365日、24時間対応、救急車搬入3,700台/年)
- ②先進医療機器の整備 (放射線治療装置、64列CT2台、MRI3台、血管撮影装置2台配備、院内医療情報システム、電子カルテの整備など)
- ③地域連携の強化 (地域医療支援病院認定)

### ●診療科・医師数

診療科名	外	神内	腫内	消内	循内	呼内	腎内	糖尿	救急	小児	整形	形成
医師数	8	4	1	7	6	4	2	2	5	5	3	2
指導医数	4	2	1	4	4	1	1	1	2	1	2	1

診療科名	皮膚	泌尿	産婦	脳外	耳鼻	麻酔	緩和ケア	放射線	リハ	健診	合計
医師数	1	2	4	3	2	3	1	1	1	1	68
指導医数	1	1	3	2	0	2	1	0	0	1	35

- 許可病床数 : 310床 (一般310床)
- 入院患者数 (1日平均) : 244.2人
- 外来患者数 (1日平均) : 620.3人
- 平均在院日数 (一般病床) : 11.5日
- 分娩件数 : 291件
- 救急医療の提供実績 : 休日や夜間に関わらず、2次救急の患者さんを24時間365日体制で行っている。当院には月平310台、年間3700台の救急車が搬送される。その他の受診者を含めると月平均1000人が来院し、そのうち140人が入院を必要とする方々です。
- 医療法上の位置づけ : 3次医療機関
- 救急取扱件数 : 17,572件
- 救急車取扱件数 : 3,756件
- 救急医療を行う診療科 : 内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腫瘍内科、神経内科、外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、小児科、産婦人科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。  
 ※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
 ※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当 (実績等による目安) : 【1年次】570,000円 (月額、手当・税込)、6,840,000円 (年額、賞与・手当・税込)  
【2年次】670,000円 (月額、手当・税込)、8,040,000円 (年額、賞与・手当・税込)
- 研修医に対する各種保険等の適用 : 全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い : 【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無 : 有り
- 出産育児等の支援体制 : 【院内保育園の有無】有り (普通保育:月曜日～金曜日7:30～18:30(24時間保育も可))  
【その他】産前産後休暇

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数 : 9名
- 応募資格 : 平成30年医師国家試験受験予定者
- 応募必要書類 : (1)履歴書 (2)卒業(見込み)証明書 (3)研修申込書 (HPより様式ダウンロード)
- 試験内容 : (1)小論文 (2)面接
- 申込締切日 : 平成29年7月末予定
- 試験実施日 : 平成29年8月(2回)の予定

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中の人数 : 1年次 8名 うち女性 3名  
2年次 7名 うち女性 2名
- 研修医の主な出身大学 : 山形大学、秋田大学、弘前大学、岩手医科大学、東北大学、新潟大学、千葉大学、宮崎大学
- 当直回数 : 4回 (4月は見習いとして見学に入る。ゴールデンウィーク明けから実際に当直に入る。)
- 研修終了後の進路 : みやぎ県南中核病院、東北大学病院、横浜市立みなと赤十字病院
- 後期研修プログラムの有無 : 有り (循環器内科、腎臓膠原病内科、呼吸器内科、消化器内科、腫瘍内科、神経内科、消化器外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科)

## ■申し込み、問い合わせ先

みやぎ県南中核病院  
総務課

989-1253 宮城県柴田郡大河原町字西38-1  
TEL 0224-51-5500 FAX 0224-51-5515  
E-mail [shomu@southmiyagi-mc.jp](mailto:shomu@southmiyagi-mc.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

仙台赤十字病院は、仙台駅から車で約 20 分の緑あふれる八木山にあります。

そのため、四季折々の自然を感じながら自分のペースで研修を行うことができる病院です。

当院では、最初の約 1・2 ヶ月はホスト科でオリエンテーションを含めた研修を行います。将来の希望の診療科で、研修をスタートさせることは、医師としてのモチベーションアップにもつながります。その後、各診療科を研修した後、2 年次には自由選択期間を活用して将来を見据えた研修を行うことができます。実際に研修を回っていく中で、2 年の間にホスト科以外の診療科へ興味を持ち転向した場合もこの選択期間を有効に利用することが出来ます。プライマリーケアに対応するために、プログラムは経験目標に定められた必要項目を 2 年間に確実に達成できるような内容になっています。

院外での研修については、地域医療を北海道（清水赤十字病院）、救急研修を秋田（秋田赤十字病院）での研修を行っています。救急の研修をさらに行いたい場合は、沖縄（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター）での救急研修が選択としてあります。赤十字病院の研修医として、2 年次には救護班に加わることもあるため、災害医療に関する訓練に参加することも可能です。

## ■プログラム紹介（参考：平成 29 年度開始プログラム）

●プログラム名／プログラム責任者：仙台赤十字病院臨床研修プログラム／三木 誠

●研修スケジュール 募集人数 4 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	選択			内科				精神科	救急	地域医療	麻酔科	選択必修
2 年次												選択

## ●協力型病院名（科目）

宮城県立精神医療センター（精神科）	秋田赤十字病院（救急医療）
清水赤十字病院（地域医療）	沖縄県南部医療センター・こども医療センター（救急医療）

## ●協力施設

太白区保健福祉センター くまがいクリニック内科・消化器科	宮城県血液センター 大波医院	森元クリニック内科胃腸科 社会福祉法人 八木山福祉会 特別養護老人ホーム 八木山翠風苑
---------------------------------	-------------------	--

## ■教育体制

毎週火曜日の朝に、研修医向けの勉強会を行っています。1 年目の研修医が入局する 4 月から 6 月頃までは、聴診・画像診断・心電図など基本的な項目から、各科の診療、医療におけるコミュニケーションなどを指導医が講義形式で行います。夏頃から、各 1 人ずつ割り当てられた英語の論文を翻訳し、その症例について検討します。症例に関係する部署の指導医の先生も参加するため、専門的な意見を聞くことも出来ます。電子カルテの使用、医療安全についての研修会なども行っています。死亡例検討会・臨床病理研究会も、年に数回開催しています。

図書室にはインターネットが整備されており、必要な文献は取り寄せができます。学会等も、制限はありますが、交通費等が支給されます。

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

研修医の希望を出来るだけ尊重し、研修科目・研修時期・研修期間の設定を行っています。

選択科目を利用した、幅の広い研修を行うことが出来るのも、質・数とも充実した指導医が情熱を持って指導に当たることが出来るからです。

医師としての最初の一步を、ぜひ仙台赤十字病院で始めましょう！

### ●先輩研修医から一言

仙台赤十字病院は、研修プログラムをある程度自分たちで決めることが出来る自由な病院です。

小児科・産婦人科を元から志望している人にとってはもちろん、まだ志望科が決まっていない場合や、後に転向した場合でも、興味を持った科については選択期間を使用して再度研修することが出来るため、魅力があります。

## ■病院理念

人道博愛に基づいて医療を行い、全ての人の尊厳をまもる

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

小児科は一般診療以外に、NICU を有し、ハイリスクな母体胎児の治療を行っております。

県から総合周産期母子医療センターの指定を受けている産婦人科でも、NICU と協力して新生児の集中医療が行われています。また、外科は腹腔鏡下手術を積極的に行っております。整形外科は股関節と足関節の手術、そして各科も種々の手術を積極的に施行しております。内科は各科に専門医・指導医を取り揃えております。

### ●診療科・医師数

診療科名	総内	呼内	循内	消内	腎内	血内	神内	糖尿病	外科	産婦人科	小児科
医師数	2	4	2	5	3	1	1	1	7	9	7
指導医数	1	1	2	2	1	0	0	1	4	3	3

診療科名	小児外科	NICU	整形外科	泌尿器科	皮膚科	眼科	耳鼻科	麻酔科	放射線科	合計
医師数	1	6	7	2	2	1	2	4	1	68
指導医数	0	1	3	1	1	1	1	2	1	29

●許可病床数：389 床（一般 389 床）

●入院患者数（1 日平均）：253 人

●外来患者数（1 日平均）：718 人

●平均在院日数（一般病床）：13 日

●分娩件数：997 件

●救急医療の提供実績：内科系および外科系医師の内どちらか 1 名が当直し、救急に対応しています。さらに総合周産期母子医療センターには産婦人科医、新生児科医が各 1 名当直しています。

●医療法上の位置づけ：2 次救急指定病院

●救急取扱件数：4,316 件

●救急車取扱件数：1,219 件

●救急医療を行う診療科：内科 外科 小児科 産婦人科

※上記データは平成 27 年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成 28 年 12 月 1 日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数 7 年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

●研修手当（実績等による目安）：【1 年次】457,000 円（月額、手当・税込）、600,000 円（年額、賞与・手当・税込）  
【2 年次】565,000 円（月額、手当・税込）、920,000 円（年額、賞与・手当・税込）

●研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険は加入するものとし、保険料の負担は法定どおりとする。

●医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意

●宿舍の有無：無し

●出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（24 時間対応）

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

●募集予定人数：4 名

●応募資格：平成 30 年医師国家試験受験予定者、医師国家試験合格者

●応募必要書類：(1) 履歴書 (2) 卒業（見込み）証明書 (3) 健康診断書 (4) 申込書 (5) 論文（『医師としての抱負』形式問わず 800 字）

●試験内容：(1) 面接 (2) 論文

●申込締切日：平成 29 年 8 月 31 日予定

●試験実施日：応募者と相談の上平成 29 年 8 月下旬予定

## ■現在の研修状況と進路

●研修中的人数：1 年次 2 名 うち女性 0 名

2 年次 2 名 うち女性 1 名

●研修医の主な出身大学：東北大学、山形大学

●当直回数：4 回

●研修修了後の進路：仙台赤十字病院

●後期研修プログラムの有無：有り（内科・外科・小児科・小児外科・整形外科・産婦人科・麻酔科（都度応相談））

## ■申し込み、問い合わせ先

仙台赤十字病院  
総務企画課

982-8501 宮城県仙台市太白区八木山本町 2-43-3

TEL 022-243-1111 FAX 022-243-1101

E-mail [tosh@sendai.jrc.or.jp](mailto:tosh@sendai.jrc.or.jp)

●**当院の臨床研修の特色**

仙台市内における中核的専門病院である仙台オープン病院において内科・救急・外科・麻酔科、仙台東脳神経外科病院及び研修協力施設で地域医療を、また仙台市立病院で小児科・産婦人科、青葉病院で精神科を必修科目として研修する。

麻酔科研修は外科研修の中で手術患者の麻酔を担当することでも行い、救急部門の研修は1ヶ月救急部門に配属され、その後救急当直において救急研修2ヶ月分に換算する。仙台市立病院で神経内科の研修、JCHO仙台病院で腎臓内科の研修も選択できる。

●**プログラム紹介**（参考：平成29年度開始プログラム） ※平成30年度開始プログラム変更予定あり

●プログラム名／プログラム責任者：仙台オープン病院臨床研修プログラム（専門医育成コース）／消化器内科部長 伊藤 啓  
●研修スケジュール 募集人数7名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急			外科		
2年次	麻酔科	地域医療	小児科	産婦人科	精神科	選択						

●**協力型病院名（科目）**

仙台市立病院（小児科、産婦人科、神経内科（選択））	財団法人 東北予防衛生会 青葉病院（精神科）
仙台東脳神経外科病院（地域医療）	JCHO仙台病院（腎臓内科（選択））
東京大学医学部附属病院（救急ACLS（選択））	

●**協力施設**

宮城県赤十字血液センター 仙台往診クリニック 岩手県立高田病院	仙台市泉区保健福祉センター 茂庭台豊齢ホーム	南光台伊藤クリニック 宮城県対がん協会
---------------------------------------	---------------------------	------------------------

●**教育体制**

研修管理委員長名及び役職：病院長 土屋 誉  
オープン・ネーベン指導体制＋屋根瓦方式  
救急患者の診察法講義  
臨床病理研究会の実施状況：3回／年  
英文抄読会、術前カンファランス、学会・研究会発表及びそのリハーサル  
文献検索などのインターネットコンテンツ利用（UpToDate）、図書室・医局データ室有り  
仮眠室（当直翌日は日勤帯に休憩時間）有り、女性医師休憩室兼仮眠室有り、当直翌日の午後は半日職務専念義務免除有り  
学会への参加費用支給有り

●**メッセージ**

●**指導医から一言**  
仙台オープン病院にはその一歩を踏み出す「アドバンテージ」があります。当院の各診療科は全国に誇れる実績があり、特に消化器内科外科はそれぞれ20名以上で診療し、その症例数や学会活動は全国でも有数です。内科外科の連携も良好で患者さん本位の治療を行っています。明日の医療を担う、可能性を秘めたガッツのある学生のみなさん、われわれと一緒に充実した毎日を過ごしませんか。

●**先輩研修医から一言**  
私が初期研修病院として選んだのはこの2つの理由からです。オープン病院は決して大規模な病院ではありませんが、各専門分野において全国に誇れるほどの実績があります。医師として早いうちに多くの症例を学ぶことができ、より専門的な、様々な経験をすることが可能です。また同じ目的や志を持った研修医が集まるので、お互いに切磋琢磨しながら日々成長することができます。手技についてや治療方針の疑問点について、研修医同士で議論が交わされることも多々あります。また院内の雰囲気がとてもよいというのもこの病院の特徴です。

●**病院理念**

思いやりのある心で信頼される優れた医療を提供します。

●**診療内容**

●診療の特徴、実績  
消化器・循環器・呼吸器の内科及び外科は先進的な治療並びに高度な医療を行っており、対外的にも高い評価を受けております。地域医療支援病院承認（全国初、平成10年9月）  
災害拠点病院指定（平成23年10月）  
（財）日本医療機能評価機構認定

●**診療科・医師数**

診療科名	消化器内科	消化器外科	循環器内科	心臓血管外科	呼吸器内科	総合診療科	救急科	放射線科	麻酔科	病理診断科	歯科	初期研修	合計
医師数	19	16	6	3	5	1	2	1	2	1	1	8	65
指導医数	9	10	5	1	3	1	2	1	1	0	0	0	33

- 許可病床数：330床（一般 330床）
- 入院患者数（1日平均）：267.1人
- 外来患者数（1日平均）：254人
- 平均在院日数（一般病床）：12.1日
- 分娩件数：0件
- 救急医療の提供実績：仙台医療圏の二次救急を365日24時間担うことにより、消化器・循環器・呼吸器、総合診療科・外科診療を中心に地域医療に貢献しております。
- 医療法上の位置づけ：2次救急指定病院、地域医療支援病院、災害拠点病院
- 救急取扱件数：9,417件
- 救急車取扱件数：4,279件
- 救急医療を行う診療科：消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器外科・一般外科、心臓血管外科・呼吸器外科、総合診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。  
※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

●**処遇**

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】531,000円（月額、手当・税込）、7,200,000円（年額、賞与・手当・税込）  
【2年次】598,000円（月額、手当・税込）、8,400,000円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会管掌健康保険・厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険、確定拠出年金
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（開園時間（月曜日～土曜日）7：00～19：00）  
夜勤（木曜のみ）15：45～翌9：45  
【その他】産前産後休暇・育児休業制度有り

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

●**研修医募集・応募方法・試験概要**

- 募集予定人数：7名
- 応募資格：第112回医師国家試験受検予定者
- 応募必要書類：(1)履歴書 (2)健康診断書 \*指定応募用紙を当院ホームページからダウンロード可能
- 試験内容：(1)面接 (2)小論文
- 申込締切日：平成29年8月末日予定
- 試験実施日：平成29年7～9月に複数回実施予定

●**現在の研修状況と進路**

- 研修中の人数：1年次 5名 うち女性 1名  
2年次 3名 うち女性 0名
- 研修医の主な出身大学：東北大学医学部、岩手医科大学、弘前大学医学部、山梨大学医学部、三重大学、福島県立医科大学、聖マリアンナ医科大学
- 当直回数：3～4回
- 研修終了後の進路：仙台オープン病院
- 後期研修プログラムの有無：有り（消化器内科、消化器外科、循環器内科、心臓血管外科、呼吸器内科）

●**申し込み、問い合わせ先**

公益財団法人仙台市医療センター 仙台オープン病院  
総務課人事係  
983-0824 仙台市宮城野区鶴ヶ谷5-22-1  
TEL 022-252-1111 FAX 022-252-0454  
E-mail [rinshoukenshu@openhp.or.jp](mailto:rinshoukenshu@openhp.or.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

選択必修科目・自由選択科目は研修医自身の希望を取り入れたフレックプログラムにすることが可能です。当院が乳がん治療や周産期医療の実績を誇る事から外科や産婦人科を希望する研修医にとっては考慮すべきプログラムです。各診療科の有機的連携を介して診療科にまたがる積極的研修が可能となっています。募集定員を4名とし、研修医をしっかり指導する体制を取っています。

## ■プログラム紹介 (参考：平成 29 年度開始プログラム) ※平成 30 年度開始プログラム変更予定あり

- プログラム名/プログラム責任者 : 内科・救急研修先行プログラム / 上原 茂樹
- 研修スケジュール 募集人数 4 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	内科系 (内科・消化器内科・循環器内科)						救 急			選択必修科		
2 年次	地域医療	精神科	自由選択科又は選択必修									

## ●協力型病院名 (科目)

東北大学病院 (救急・剖検・CPC・総合感染症内科・皮膚科・放射線科・腫瘍内科・神経内科)	医療法人東北会 東北会病院 (精神科)
---	---------------------

## ●協力施設

仙台市青葉区保健福祉センター	宮城県赤十字血液センター	向仁会 永井産婦人科医院
----------------	--------------	--------------

## ■教育体制

医療人として患者を全面的に理解し、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識し、日常的に遭遇する頻度の高い負傷または疾病、緊急性のある状況に対処できる知識・技術・態度を身につけた臨床医を養成する事目的とする。

- ・ 虎の門病院で行われる研修会への積極的参加
- ・ 毎週水曜日開催の内科外科カンファレンスへの参加
- ・ 医局会・CPC への参加
- ・ 入職時オリエンテーション参加
- ・ 研修医会参加
- ・ 医療安全研修会参加
- ・ 救急対応研修会への参加
- ・ その他各種院内・院外研修会への参加

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

2016 年は浸潤麻酔の手術を除くほぼ全症例に当たる 3129 件の手術麻酔を麻酔科で担当しました。1 日あたり平均約 12 件の手術麻酔を行ったこととなります。2016 年は月平均 1.4 人の初期研修医が麻酔科をローテートしました。同時期に研修する研修医が 4 名までであれば、毎日最低 2 - 3 件の麻酔を担当できる計算ですので、今のところ麻酔症例には全く不自由しない状況です。麻酔科研修は基本的には 2 または 3 ヶ月で受け入れていますが、1 ヶ月目は気管挿管を伴う全身麻酔に専念してもらい、2 ヶ月目から脊髄くも膜下麻酔やラリンジアルマスクを使った全身麻酔に挑戦してもらっています。脊髄くも膜下麻酔も月平均約 35 件ありますので、くも膜下腔穿刺も躊躇なく行えるようになります。基本的麻酔手技の修練に最適な病院と自負しております

### ●先輩研修医から一言

研修先として当院をおススメする点としては、研修医の数が少ないため 1 人 1 人に回ってくる手技の数が多く、沢山の経験を得る事が出来る事です。

又医局が 1 つのため他科の先生に気軽にコンサルト出来る事もメリットの 1 つだと思います。当直についても初めは不安だと思いますが、1 年目は必ず上級医の先生が付いてくれて丁寧な指導を頂きながら患者さんを診る事が出来るので大変有意義な研修生活を送る事が出来ています。

勤務後には先輩や仲間達と周りにある美味しい店に行ったりする事も出来ます。是非 1 度当院に見学に来てみて下さい！

## ■病院理念

地域の皆様から信頼され安心して選択される病院を目指します。

- 1、患者様中心の温かみのある医療サービスを提供します。
- 2、常に医療水準の向上に努め、良質の医療を提供します。
- 3、地域医療体系に積極的に参加し、合理的で効果的な医療を行います。
- 4、健診機能の充実を図り、積極的に病気の予防に取り組みます。
- 5、健全な経営を図ります。

## ■診療内容

- 診療の特徴、実績  
当院は患者サービスの向上、高度医療技術習得のために常に自己研修を行い知的・技術的資本の集約に心がけています。

### ●診療科・医師数

診療科名	内科	循内	小児	外	整形	形成	泌	産婦	眼	耳鼻	麻	リハ	合計
医師数	13	2	4	8	4	2	2	10	2	3	6	2	58
指導医数	6	1	3	4	2	0	1	3	2	1	3	0	26

- 許可病床数 : 385 床 (一般 385 床)
- 入院患者数 (1 日平均) : 222 人
- 外来患者数 (1 日平均) : 681.8 人
- 平均在院日数 (一般病床) : 7.6 日
- 分娩件数 : 1,342 件
- 救急医療の提供実績 : 平成 16 年 8 月に 2 次救急医療機関の認定を受け、薬剤師・臨床検査技師・臨床放射線技師の院内待機や携帯によるオンコール体制を実施。平成 19 年 10 月より登録医制度を開始し、平日は夜 8 時、土曜日は夕方 5 時まで予約受付をし急患は日直医・当直医・各科救急当番医を配置する事で受入体制を強化しております。

- 医療法上の位置づけ : 2 次医療機関
- 救急取扱件数 : 5,636 件
- 救急車取扱件数 : 749 件
- 救急医療を行う診療科 : 全診療科

※上記データは平成 27 年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成 28 年 12 月 1 日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数 7 年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisja.org/common/ad0.php>】

## ■処 遇

- 研修手当 (実績等による目安) : 【1 年次】基本給 350,000 円 (交通費・住宅手当・時間外手当・日当直手当、別途支給)、5,830,000 円 (年額、賞与・手当・税込)  
【2 年次】基本給 400,000 円 (交通費・住宅手当・時間外手当・日当直手当、別途支給)、6,850,000 円 (年額、賞与・手当・税込)
- 研修医に対する各種保険等の適用 : 協会けんぽ、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い : 【病院加入】有り 【個人加入】有り
- 宿舍の有無 : 無し
- 出産育児等の支援体制 : 【院内保育園の有無】有り (0 歳児より受入可。通常保育 (8:00 ~ 18:30) 延長保育・一時保育有り。)  
【その他】短時間勤務制度、育児休業制度あり。

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数 : 4 名
- 応募資格 : 平成 29 年度医師国家試験受験予定者
- 応募必要書類 : (1) 履歴書 (2) 卒業 (見込) 証明書 (3) 成績証明書 (4) 健康診断書 ホームページよりダウンロード可
- 試験内容 : (1) 面接
- 申込締切日 : 平成 29 年 8 月 11 日
- 試験実施日 : 平成 29 年募集締切後随時

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数 : 1 年次 3 名 うち女性 1 名  
2 年次 1 名 うち女性 0 名
- 研修医の主な出身大学 : 香川大学・久留米大学・新潟大学・東北大学大学院
- 当直回数 : 4 回 (1 年次は副直、2 年次から当直)
- 研修終了後の進路 : 東北公済病院
- 後期研修プログラムの有無 : 有り (内科・循環器内科・外科・泌尿器科・産婦人科・整形外科・形成外科・リハビリテーション科)

## ■申し込み、問い合わせ先

国家公務員共済組合連合会 東北公済病院  
庶務課

980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町 2-3-11  
TEL 022-227-2211 (内線 3518) FAX 022-263-8069  
E-mail syomu01@tohokukosai.com

## ●当院の臨床研修の特色

当院は、プライマリ・ケアから二次救急まで一般臨床医学を学べる病院としてふさわしい環境を整備しました。内科分野においては、専門診療科も標榜しており、各専門の指導医師が揃っている中で、ローテートしながら内科を研修します。消化器内視鏡検査の基本技術取得と肝臓病・糖尿病・呼吸器・循環器・神経疾患などの臨床知識の習得が可能です。また、外科分野においては、外科疾患の病態を理解し、術前術後の管理及び助手又は術者としての手術手技の基本研修などが可能です。選択必修科目は2ヶ月間で、到達目標の達成に必要な診療科を研修医の希望に応じ期間を定め、外科、小児科、麻酔科、産婦人科、精神科の5科目の中から2ヶ月以上選択し研修を実施する。自由選択期間は14ヶ月あり、必修科目での不足を補うとともに、研修医のニーズに合わせた科目の選択とします。

どの分野も研修医の自主性と積極性を重視しながら、指導医が懇切丁寧な指導をいたします。少人数での研修から豊富な症例経験が可能で、特に消化器疾患を中心とした診断治療は充実した研修ができます。

また、臨床研修医のための部屋は、ゆったり寛げる空間で学習と休息ができるようになっております。

## ■プログラム紹介 (参考：平成29年度開始プログラム) ※平成30年度開始プログラム変更予定あり

●プログラム名／プログラム責任者：栗原市立栗原中央病院臨床研修プログラム／石田 健司

●研修スケジュール 募集人数3名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						自由選択			救急	自由選択	
2年次	自由選択	地域医療	自由選択	選択必修 (外科・麻酔科・小児科・精神科・産婦人科)		自由選択						

## ●協力型病院名 (科目)

国家公務員共済組合連合会 東北公済病院 (産婦人科)	一般財団法人 みやぎ静心会 国見台病院 (精神科)
独立行政法人 国立病院機構 仙台医療センター (救急、自由選択 (循環器内科))	独立行政法人 国立病院機構 岩手病院 (地域医療)

## ●協力施設

栗原市立若柳病院	栗原市立瀬峰診療所	宮城県栗原保健所
----------	-----------	----------

## ■教育体制

◆オリエンテーション (1週間)	◆救急症例検討会
◆内科・外科カンファレンス (毎週月曜日)	◆画像症例検討会
◆整形外科カンファレンス (毎朝)	◆剖検例や手術症例のCPC (臨床病理検討会) (年3回)
◆各種画像の読影会	◆医療安全研修会
◆腹部超音波検査講演会 (外部特別講師実技指導あり)	◆院内感染対策研修会 など

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

当院の規模はそれほど大きくはありませんが、宮城県北部の中核病院としてその機能を果たしています。当院の研修で目指すものは、臨床の実際の現場に即して、幅広い医学的知識と診断・治療の技術の習得を目標とします。最近、専門医志向が患者サイドにも強いようで、医療界も勢いその方向に流れています。ペースに広い医学的知識や技術があったうえで専門性を確保するための初期研修を行えるよう研修環境を整えています。その上で後期研修や大学院への進学をすることによって、より深い知識や経験を身につけていっていただければよいと思います。

研修医の皆さんには、当院での「臨床の現場に即した実践的で病人に優しい診療」を是非勉強して欲しいと思います。熱き意気込みを持っている研修医の皆さんのご期待にそえる病院だと自負しています。

### ●先輩研修医から一言

当院は宮城県北部の中核病院であり、急性期から慢性期まで幅広い疾患を経験することができます。ベッド数300床とそれほど大きくはないですが、プライマリケアから2次救急までの一般臨床を学ぶことができます。

研修医の数が少ないため、指導医の先生からマンツーマンで指導を受け、自分のペースで研修を受けることができます。診療科は全て揃っているわけではないですが、不足している科に関しては他院で研修することも可能です。また、自由選択期間が長いので自分の志望科や興味のある科を重点的に回ることもできます。

プライマリケアに興味がある、初期研修でcommon diseaseを経験したいという人におすすめの病院です。興味のある方はまずは見学に来て、当院の雰囲気を感じてください。

## ■病院理念

### 理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にす最善の医療を行い、地域に貢献します。

### 基本方針

- わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします。
- 1 市民から信頼される、安全な医療を行います。
  - 2 良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます。
  - 3 地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします。
  - 4 地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます。

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

常勤医師は26名ですが、東北大学病院等より多数の専門医による診療支援を頂いております。栗原市内外の各医療機関等との病病・病診連携を図り、地域の拠点病院として機能を発揮しています。現在16診療科があり、12の各学会認定研修施設となっています。また、臨床研修指定病院として、診療や教育に活動の幅を広げています。充実した病院設備を生かすとともに、入院診療を基本とし、一般的な診療はもちろん専門医による診療、専門外来を設置しております。リハビリテーション施設を拡充し、高齢者社会に対応するための医療も行ってあります。

### ●診療科・医師数

診療科名	内	神経内科	消化器内科	外	整	産婦	眼	耳鼻	小	皮	麻	精	泌	放	リハ	病理	合計
医師数	12	-	-	4	3	-	1	-	1	1	1	-	1	1	1	-	26
指導医数	5	-	-	3	2	-	1	-	1	-	1	-	-	1	1	-	15

- 許可病床数：300床 (一般250床、療養50床)
- 入院患者数 (1日平均)：189.3人
- 外来患者数 (1日平均)：371.4人
- 平均在院日数 (一般病床)：16.8日
- 分娩件数：0件
- 救急医療の提供実績：栗原医療圏内の二次救急医療を担う病院として救急車の搬入件数は毎月平均146件です。土・日・休日の救急医療体制は、医師2名、看護師2名、看護師長1名で対応し、当直以外の各診療科の医師については、それぞれバックアップ体制、また、コメディカルについてはオンコール体制をとっております。

- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：4,518件
- 救急車取扱件数：1,763件
- 救急医療を行う診療科：内科、外科、整形外科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当 (実績等による目安)：【1年次】644,000円 (月額、手当・税込)、7,728,000円 (年額、賞与・手当・税込) 【2年次】744,000円 (月額、手当・税込)、8,928,000円 (年額、賞与・手当・税込)
- 研修医に対する各種保険等の適用：社会保険、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り (月～土曜日7:30～18:30 ※一時保育・延長保育・休日及び終夜保育あり) 【その他】育児短時間勤務、育児部分休業、特別休暇の育児時間

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：3名
- 応募資格：平成30年医師国家試験受験予定者
- 応募必要書類：(1)卒業 (見込) 証明書 (2)採用選考申込書 (3)履歴書 (写真貼付) (4)健康診断書 (当院ホームページよりダウンロードするか総務課総務係に請求)
- 試験内容：(1)書類審査 (2)面接 (3)小論文
- 申込締切日：平成29年9月上旬予定
- 試験実施日：平成29年8～9月予定、随時相談により決定する

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1年次 3名 うち女性 1名  
2年次 2名 うち女性 1名
- 研修医の主な出身大学：弘前大学、東北大学、金沢大学、産業医科大学
- 当直回数：4回 (1年次は9月まで半副直 (夜10時まで副直)、10月から副直 (指導医や上級医が診療にあたり、研修医は指示のもと診療にあたる。)、2年次は2人当直 (指導医や上級医のもと初めから研修医が診療にあたる))
- 研修修了後の進路：当院において後期研修。当人の希望に応じてできる限り支援する。
- 後期研修プログラムの有無：無し

## ■申し込み、問い合わせ先

栗原市立栗原中央病院  
総務課内臨床研修管理委員会事務局

987-2205 宮城県栗原市築館宮野中央3-1-1  
TEL 0228-21-5330 FAX 0228-21-5350  
E-mail k-soumu@kam.or.jp

## ●当院の臨床研修の特色

当院の研修プログラムは、プライマリ・ケアとして内科に重点を置いたプログラムを組んでいます。内科全領域の専門医が、専門の壁を作らず、随時協力して外来診療を行っているため、研修医にとって患者を診る力となる確実な知識力と技術力が習得でき、プライマリ・ケアのトレーニングを積み重ねることが出来ます。外来診療から入院、そして退院までの一貫した流れを実践的に学ぶことができます。各診療科間の垣根の低さとコミュニケーションの良さ、他職種との顔の見える連携という中規模病院の特性を活かした総合力で少人数制の研修プログラムをバックアップします。それから、研修医が充実した研修期間を過ごせるよう、多彩な病院・施設様にご協力をいただいています。当院は平成 28 年 4 月より学校法人東北医科薬科大学医学部の附属病院のひとつとなり、平成 29 年度の臨床研修プログラムからは東北医科薬科大学病院（本院）と協力型を結び、連携が密になりました。これにより、これまでも増して充実した研修が可能となります。スケジュールの編成や研修病院・施設の選択などにおいて研修医の自主性を尊重しながら、指導医からマンツーマンでの丁寧な指導のサポートがあります。また、院内のイベント（歓迎会、ロビーコンサート、クリスマスパーティーなど）も豊富で、アットホームな雰囲気も当院の特色といえます。

## ■プログラム紹介（参考：平成 29 年度開始プログラム）

●プログラム名／プログラム責任者：東北医科薬科大学若林病院臨床研修プログラム／高橋 識至  
 ●研修スケジュール 募集人数 2 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	内 科						救急部門			選択必修科目		精神科
2 年次	地域医療											選択科目

## ●協力型病院名（科目）

東北医科薬科大学病院（内科、救急部門、外科、産婦人科、小児科、麻酔科、精神科、総合診療科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、リハビリテーション科、病理診断科）	東北大学病院（救急部門、産婦人科）	青葉病院（精神科）
仙台市立病院（救急部門、産婦人科、小児科）	仙台医療センター（循環器内科）	

## ●協力施設

穂波の郷クリニック

## ■教育体制

### ●研修医に特定した教育プログラム

- （1）オリエンテーション [1 週間程度]
- （2）研修医のためのプライマリ・ケア講習会 [週 1 回]：AED/BLS 研修など
- （3）指導医の下での論文作成・学会発表（学会・研修会参加のための旅費支給あり）
- （4）専用 PC（インターネット利用可）
- （5）図書スペース、研修医スペースあり

### ●病院勉強会、研修会による教育

- （1）フィルムカンファレンス [毎日]
- （2）症例検討会 [週 1 回]
- （3）外科内科合同カンファレンス [月 1 回]
- （4）CPC [年 1 ～ 2 回]
- （5）病院研究会
- （6）病院研修会 [月 1 ～ 2 回]：感染対策、医療安全、接遇など

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

私たちの世代とは研修形態が大きく異なってきており、昔の大雑把な研修医時代を過ごした私から見ると、今の研修医は非常にきめ細かいケアをうける一方で、第一線に放り込まれる経験がなかなかできない印象があります。また、将来の進路が定まっている人と、まだ何も定まっていない人では初期研修のありかたは全く異なってくるでしょう。さらにとにかくいろいろな経験を積んでおきたい人と、早くからある特定の分野に興味を持って深くきわめていきたいと考える人もいでしょう。しかし、昔も今も、総合医を目指す人も、超専門的なスーパードクターを目指す人でも、初期研修で身に着けるべき共通の目標があると私は考えます。目の前に患者がいるとき、一臓器の診断だけでなく全人的に見ることができるようになること、その瞬間その場面の判断だけでなくその患者が現在の状況に陥った原因を考え、将来のためにどうするべきか、患者の生涯を慮る。当院の研修ではそのような医療人としての基本的精神を涵養できることを目標にしております。

### ●先輩研修医から一言

当院の特徴は研修医が一人の医師として診療を行うことにあると思います。一見当たり前と思うかもしれませんが、与えられた指示をこなすだけの研修が行われている病院も少なくないと耳にします。各先生方、看護師さんに相談しやすい雰囲気があります。コミディカルの方々に教えていただく機会も多く、院内にたくさんの繋がりをもつことができます。また、大規模病院から地域のクリニックまでバリエーション豊かな協力病院、施設で研修ができるので、そこで人間関係を築くことができるのも将来を決める上で役に立つ経験だと思います。興味のある方は、ぜひ一度見学へ！

## ■病院理念

基本理念  
 人権と生命の尊厳を守り、心のこもった温かく良質な医療の提供に努めます。  
 基本方針  
 1. 全人的な医療を行います。  
 2. 安全な医療の継続を推進します。  
 3. 高度で総合的なチーム医療を行います。  
 4. 地域の医療機関との連携を進めます。  
 5. 日々の研鑽と反省を続け医療を行います。  
 6. 活力ある病院経営を推進します。  
 モットー  
 温かく、かつ前向きな姿勢で

## ■診療内容

●診療の特徴、実績  
 仙台市、主に若林区（人口 13 万人）の地域医療を支える各科の専門医を揃えた総合病院です。急性期病院として第一線の医療を提供し、救急指定病院でもあります。併設の健診センターでの人間ドックなど予防医療も充実し、病床数 199 床、常勤医師数約 30 名と規模は大きくありませんが、病院としての機能は充実しています。近年は糖尿病、呼吸器、リウマチ膠原病、人工透析、婦人科の内視鏡手術などで県外から受診される方も増えています。

### ●診療科・医師数

診療科名	内科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	麻酔科	合計
医 師 数	18	3	1	3	2	1	1	2	31
指導医数	11	2		2					15

- 許可病床数：199 床（一般 199 床）
- 入院患者数（1 日平均）：140.7 人
- 外来患者数（1 日平均）：542 人
- 平均在院日数（一般病床）：13.8 日
- 分娩件数：0 件
- 救急医療の提供実績：平成 27 年度の診療時間内における救急外来患者数は 6,582 名で、710 件の救急搬送を受け入れました。
- 医療法上の位置づけ：2 次医療機関
- 救急取扱件数：8,046 件
- 救急車取扱件数：710 件
- 救急医療を行う診療科：内科

※上記データは平成 27 年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成 28 年 12 月 1 日現在です。  
 ※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数 7 年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
 ※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処 遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1 年次】430,000 円（月額、手当・税込）、5,900,000 円（年額、賞与・手当・税込）  
 【2 年次】450,000 円（月額、手当・税込）、6,200,000 円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：公的医療保険（私学共済）、公的年金保険（私学共済）、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：無し
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】無し  
 【その他】短時間勤務制度、子の看護のための特別休暇付与

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：平成 31 年度に東北医科薬科大学病院（本院）との間で診療体制の再編があり、本院が基幹型病院として、
- 応募資格：若林病院は協力型病院へ移行する予定のため、平成 30 年度採用分より初期研修医の募集は行いません。
- 応募必要書類：
- 試験内容：
- 申込締切日：
- 試験実施日：

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1 年次 1 名 うち女性 0 名  
 2 年次 0 名 うち女性 0 名
- 研修医の主な出身大学：北海道大学
- 当直回数：4 回（最大で 4 回程度）
- 研修修了後の進路：仙台医療センター
- 後期研修プログラムの有無：有り（内科、外科）

## ■申し込み、問い合わせ先

東北医科薬科大学 若林病院  
 臨床研修担当  
 984-8560 宮城県仙台市若林区大和町 2-29-1  
 TEL 022-236-5711 FAX 022-238-7987  
 E-mail resident\_02@ml.hosp.tohoku-mpu.ac.jp